

下水道工事施設構造図

図面番号	図面種別	備考欄
S-A1	まくら土台基礎構造図	
S-A2	はしご胴木基礎構造図	
S-A3	砂基礎構造図	
S-B1	小型マンホール(塩ビ)構造図	
S-B2	小型マンホール(レジン)構造図	
S-B3	組立0号マンホール構造図	
S-B4	組立楕円型マンホール構造図	
S-B5	組立1号マンホール構造図	
S-B6	組立2号マンホール構造図	
S-B7	組立3号マンホール構造図	
S-B8	組立4号マンホール構造図	
S-C1	副管構造図	
S-D1-1	ます(汚水)構造図	塩ビ製
S-D1-2	ます(汚水)構造図(防災拠点)	塩ビ製
S-D2	ます(汚水)構造図	コンクリート製
S-D3	ます(雨水)構造図	コンクリート製(二次製品タイプ)
S-D4	ます(雨水)構造図	コンクリート製(現場打タイプ)
S-E1	舗装復旧工 下層路盤・上層路盤・基層・表層 構造図	国県道
S-E2	舗装復旧工 下層路盤・上層路盤・基層・表層 構造図	市道
S-F1	立坑構造図(ライナープレート)	φ1500mm
S-F2	立坑構造図(ライナープレート)	φ1600mm
S-F3	立坑構造図(ライナープレート)	φ1700mm
S-F4	立坑構造図(ライナープレート)	φ1800mm
S-F5	立坑構造図(ライナープレート)	φ2000mm
S-F6	立坑構造図(小型立坑)	φ1500mm、φ1800mm、φ2000mm
S-G1	耐震構造図	
S-H1	空伏構造図	

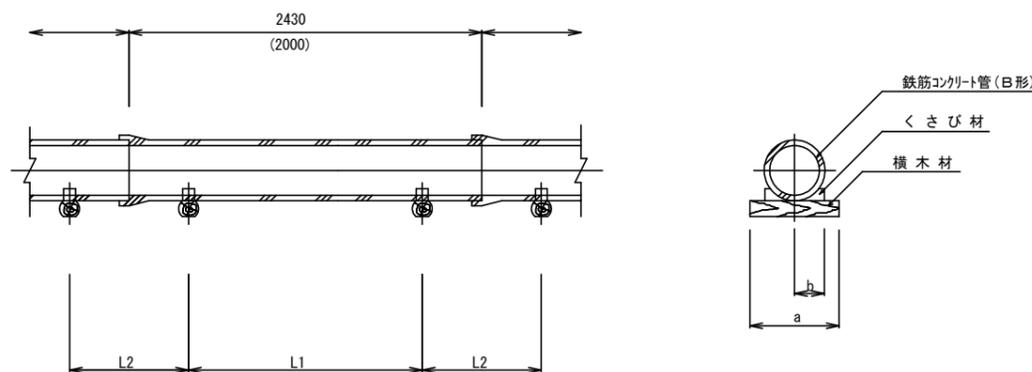
- ・図面縮尺はA-1版での尺度を表記しています。
- ・下水道工事施設構造図は、船橋市公共下水道事業に携わる皆様へ、参考的な資料としてご使用いただくことを基本に公開しております。

下水道工事施設構造図

令和7年度

船橋市 下水道河川整備課

まくら土台基礎構造図 S=1:20



管内径 (mm)	基礎幅 (a) (mm)	くさび材長 (b) (mm)	L1	L2
250~350	450	150	1400	600
400	450	150		
450~600	600	200		
700~1000	900	300		
1100~1200	1200	400	1630	800
1350	1500	400		
1500	1500	400		
1650~1800	1800	400		

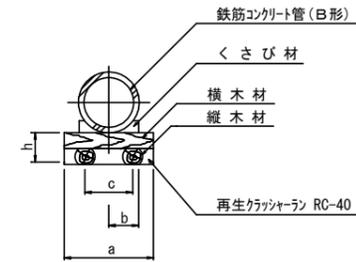
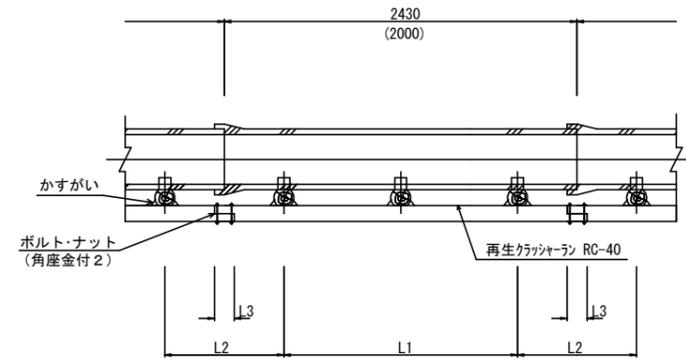
※くさび材長 (b) は片側長

内径	横木材	くさび材
	生松太鼓落し	松正割
φ250~350	※D 105 x 75	※L 60 x 60
φ400~600	120 x 90	60 x 60
φ700~1350	150 x 120	75 x 75
φ1500~1800	180 x 150	90 x 90

※NC形は別途考慮する

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	まくら土台基礎構造図
縮尺	図示
図面番号	S-A1
船橋市 下水道河川整備課	

はしご胴木基礎構造図 S=1:20



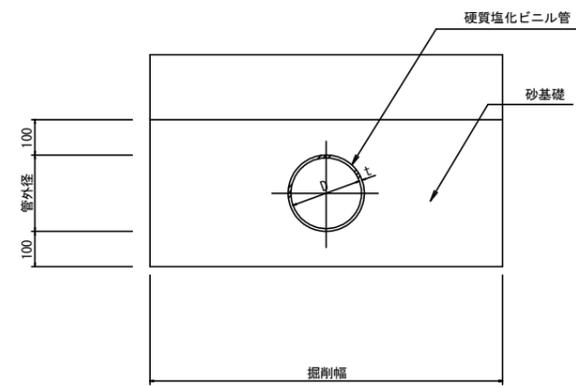
管内径 (mm)	基礎幅 (a) (mm)	くさび材長 (b) (mm)	縦木間隔 (c) (mm)	基礎厚 (h) (mm)
250~350	450	150	300	165
400	450	150	300	180
450~600	600	200	400	180
700~1000	900	300	600	240
1100~1200	1200	400	800	240
1350	1500	400	1000	240
1500	1500	400	1000	300
1650~1800	1800	400	1200	300

L1	L2	L3
700×2	600	
(800×2)	(830)	仕上がり寸法×2以上

※NC形は別途考慮する

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	はしご胴木基礎構造図
縮尺	図示
図面番号	S-A2
船橋市 下水道河川整備課	

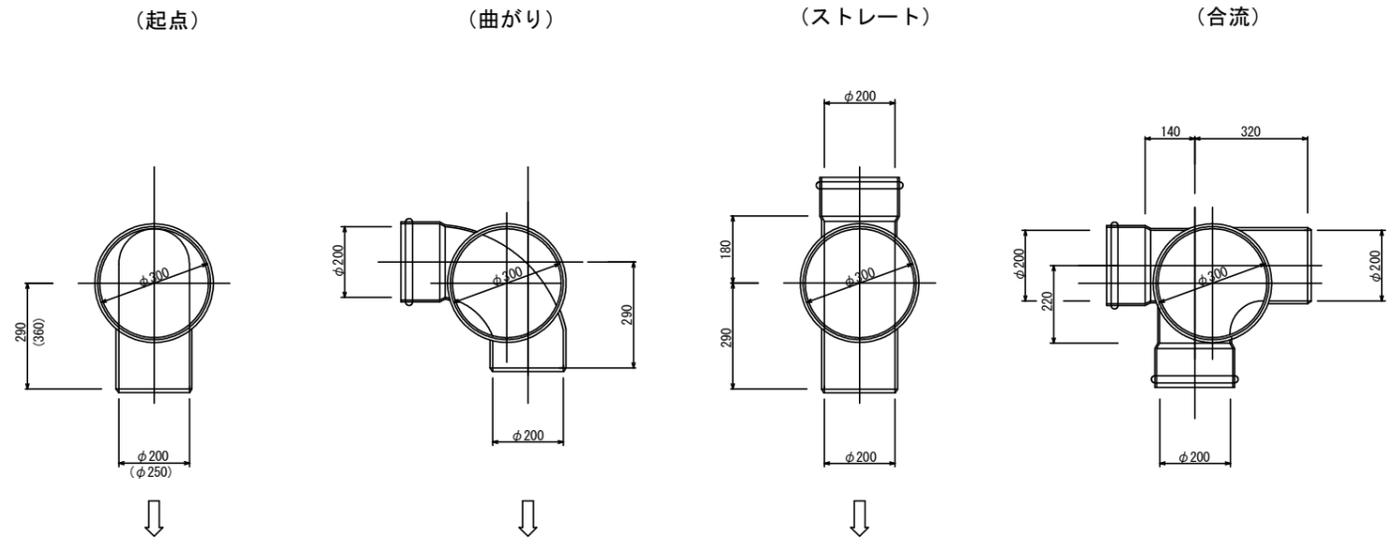
砂基礎構造図 S=1:10



令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	砂基礎構造図
縮尺	図示
図面番号	S-A3
船橋市 下水道河川整備課	

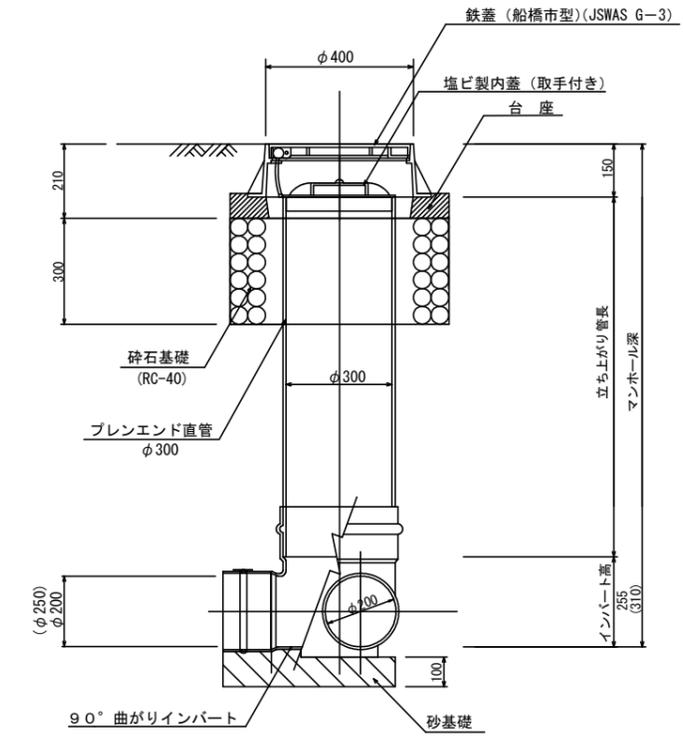
小型マンホール（塩ビ）構造図 S=1:10

平面図



※ () 内はφ250mmの場合

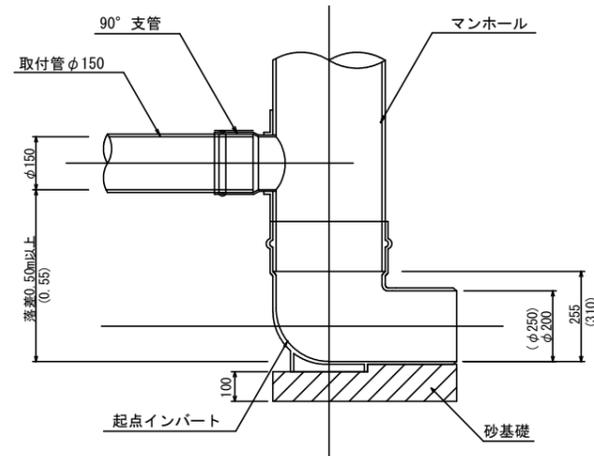
断面図



※ () 内はφ250mmの場合

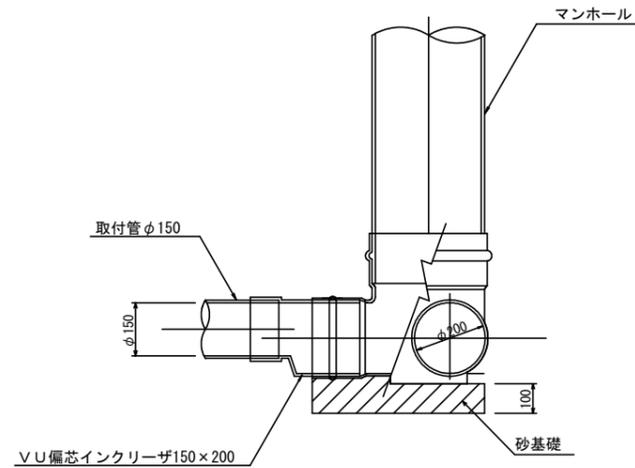
取付管接続標準図

断面図

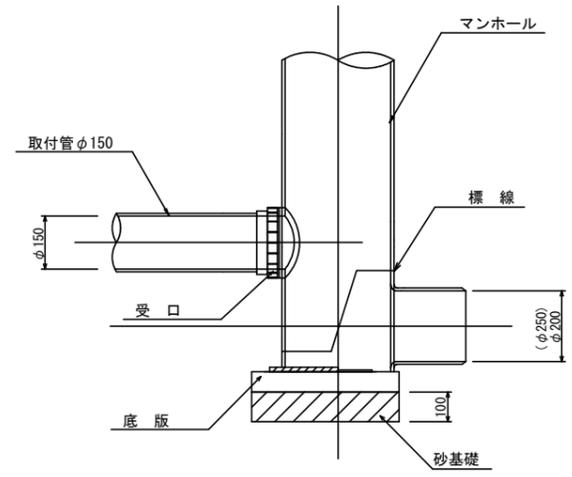


※ () 内はφ250mmの場合

断面図



断面図



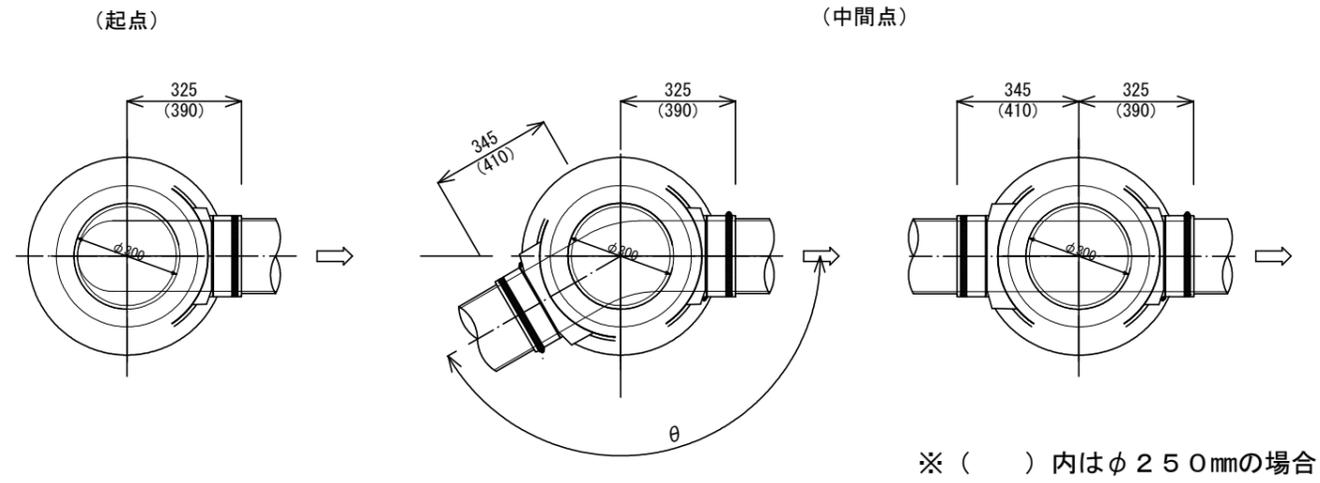
※ () 内はφ250mmの場合

※マンホール本体は (JSWAS K-9) を使用すること
 ※設置条件により、インパートタイプを使い分ける
 ※各接合部はゴム輪接合を用いること

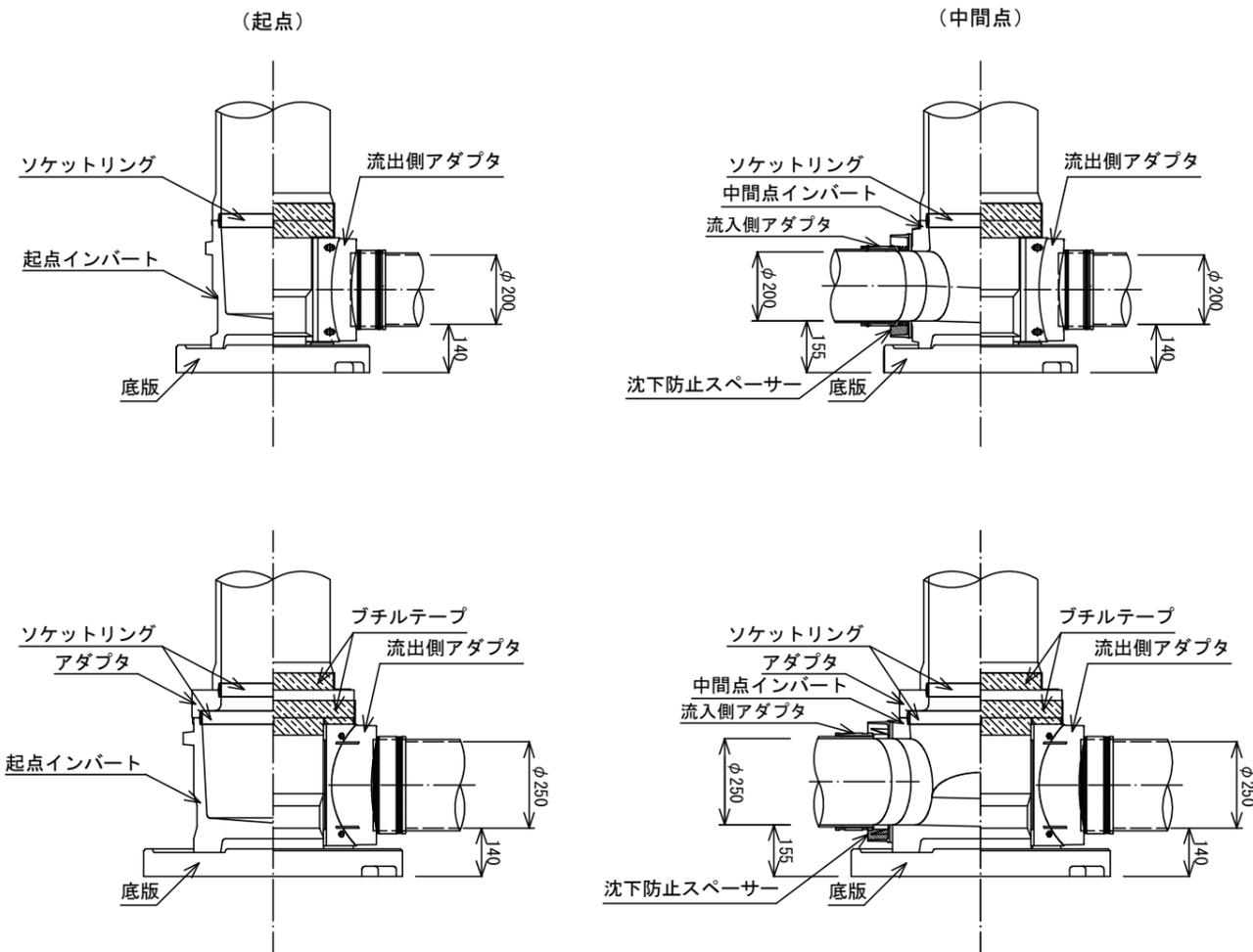
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	小型マンホール(塩ビ)構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B1
船橋市 下水道河川整備課	

小型マンホール（レジン）構造図 S=1:10

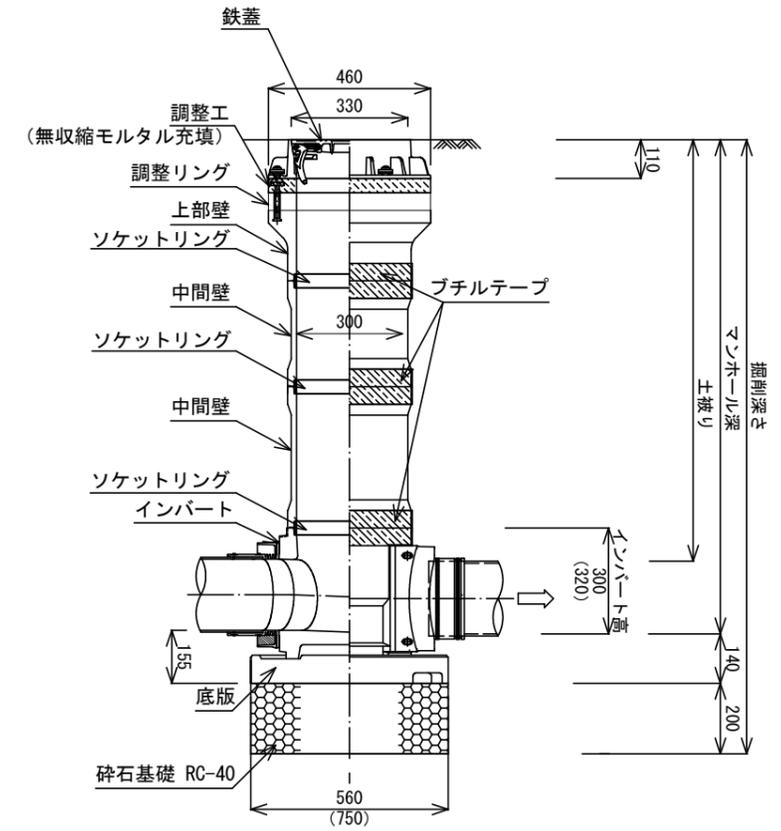
平面図



インバート断面図



断面図



※ () 内はφ250mmの場合

中間点インバート流入管対応可能取付角度

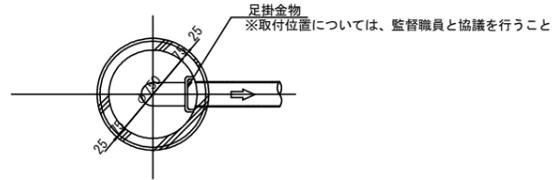
本管径	中間点インバート規格	流入管対応可能取付角度 (θ)
200	200-90° (270°)	90° (270°) ±7.5°
	200-97.5° (262.5°)	97.5° (262.5°) ±7.5°
	200-105° (255°)	105° (255°) ±7.5°
	200-120° (240°)	120° (240°) ±7.5°
	200-135° (225°)	135° (225°) ±7.5°
	200-150° (210°)	150° (210°) ±7.5°
	200-165° (195°)	165° (195°) ±7.5°
	200-180°	180° ±7.5°
250	250-150°	150° ±7.5°
	250-165°	165° ±7.5°
	250-180°	180° ±7.5°
	250-195°	195° ±7.5°
	250-210°	210° ±7.5°

※設置条件により、インバートタイプを使い分ける

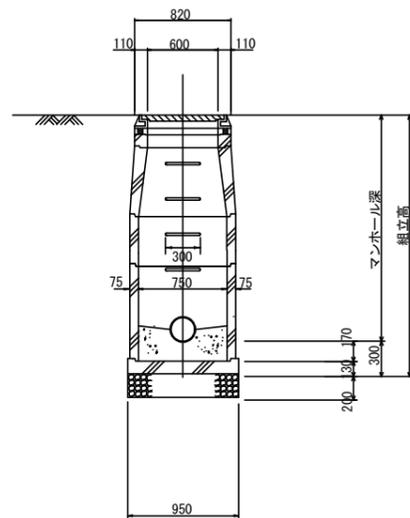
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	小型マンホール(レジン)構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B2
船橋市 下水道河川整備課	

組立0号マンホール構造図 S=1:30

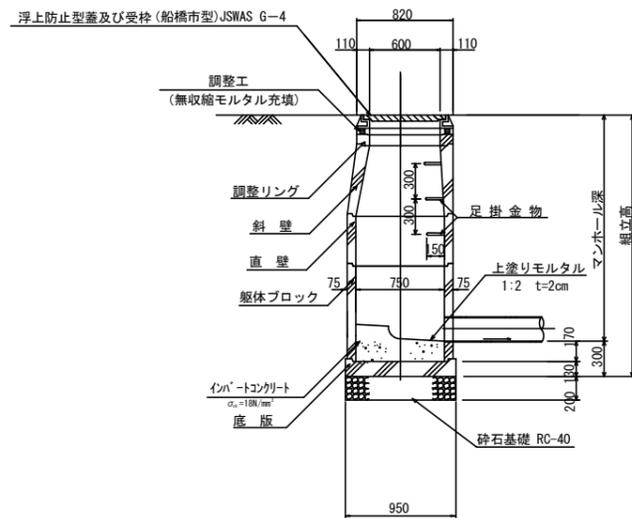
平面図



横断面図



縦断面図

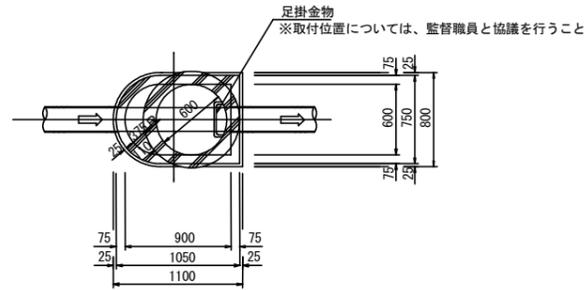


- ※マンホール本体は (JSWAS A-11) を使用すること。
- ※人孔深が2m以上の場合は、転落防止用梯子を設置すること
- ※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること
- ※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する
- ※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

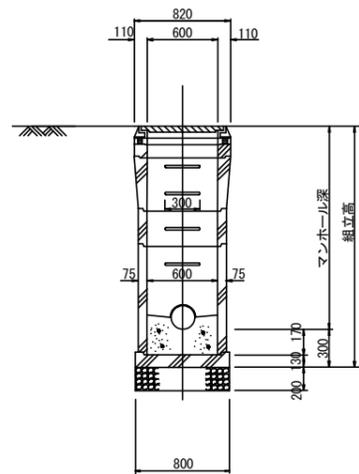
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立0号マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B3
船橋市 下水道河川整備課	

組立楕円型マンホール構造図 S=1:30

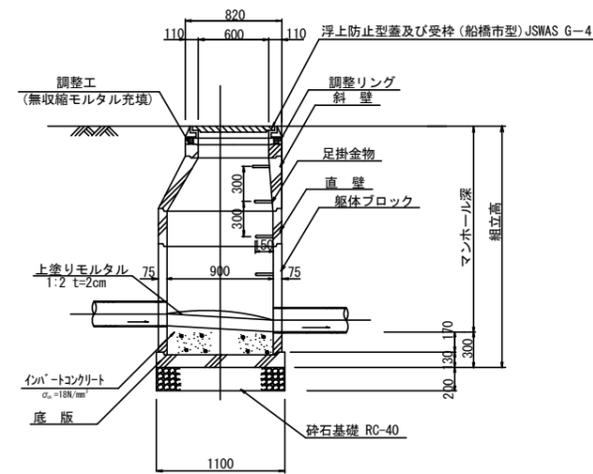
平面図



横断面図



縦断面図

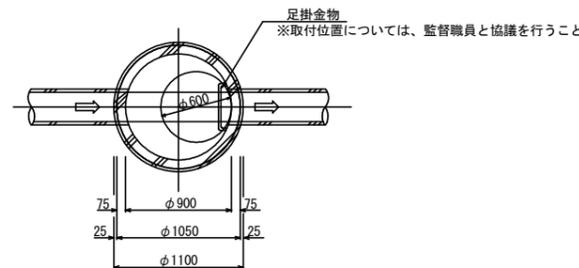


※人孔深が2m以上の場合は、転落防止用梯子を設置すること
 ※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること
 ※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する
 ※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

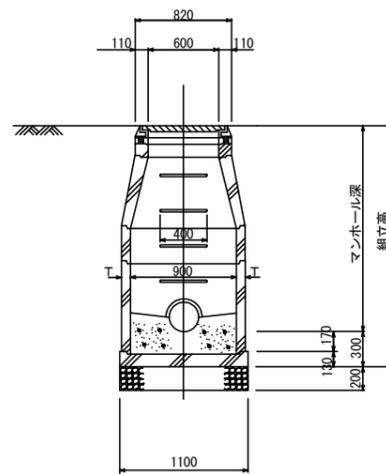
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立楕円型マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B4
船橋市 下水道河川整備課	

組立 1 号マンホール構造図 S=1:30

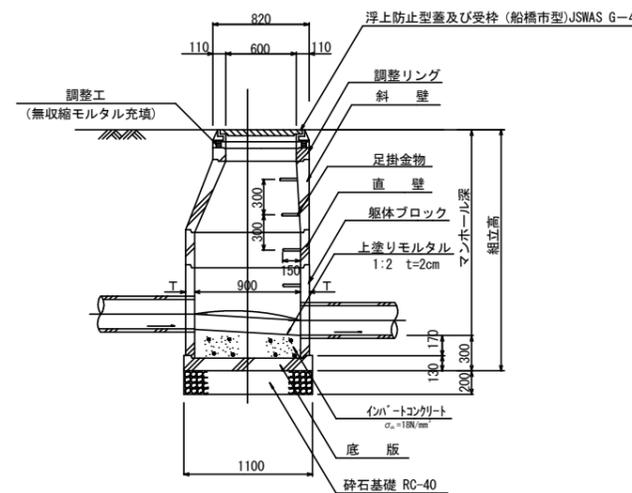
平面図



横断面図



縦断面図



組立高	部材種類	厚さT (mm)
0m ~ 5m	I種	75
5m ~ 10m	II種	100

人孔深	中間スラブ箇所数
0m ~ 5m	0箇所
5m ~ 8m	1箇所
8m ~ 12m	2箇所
12m ~ 16m	3箇所
16m ~ 20m	4箇所

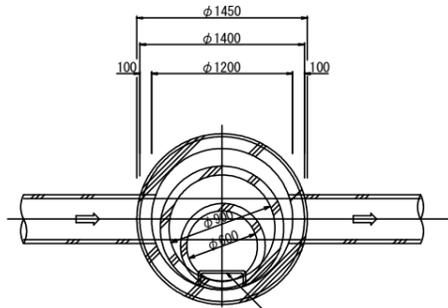
※マンホール本体は (JSWAS A-11) を使用すること。
 ※人孔深が2m以上の場合、転落防止用梯子を設置すること
 ※人孔深が5m以上となる場合は、中間スラブを設置する。尚、構造・設置位置については監督職員と協議すること
 ※組立高が5~10mの部分にはII種を使用し、10mを超える箇所については適応除外すること
 ※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること
 ※設置条件により、マンホールタイプを使い分けること
 ※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する
 ※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立1号マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B5
船橋市 下水道河川整備課	

組立2号マンホール構造図

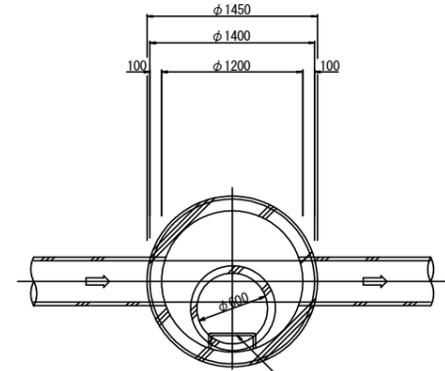
S=1:30

平面図



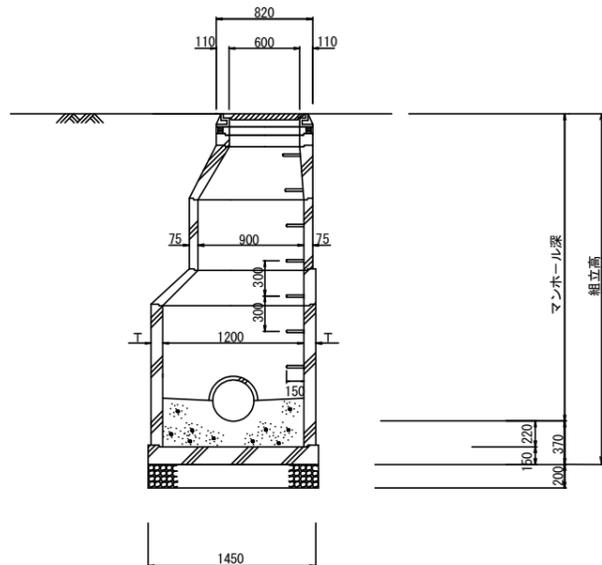
足掛金物
※足掛金物の取付位置については、監督職員と協議を行うこと

平面図

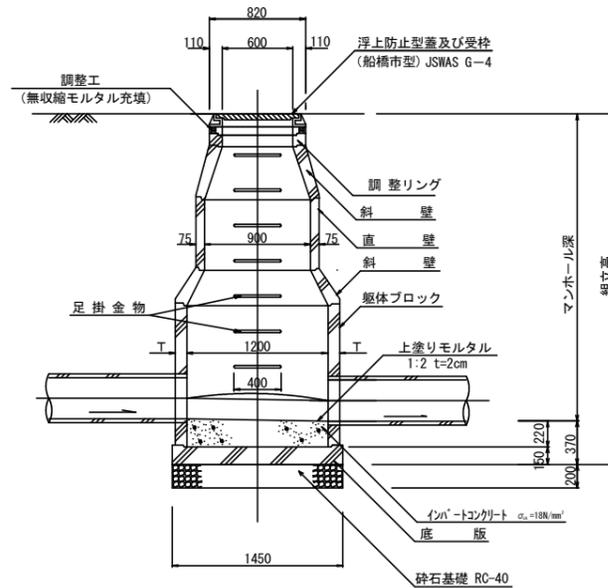


足掛金物
※足掛金物の取付位置については、監督職員と協議を行うこと

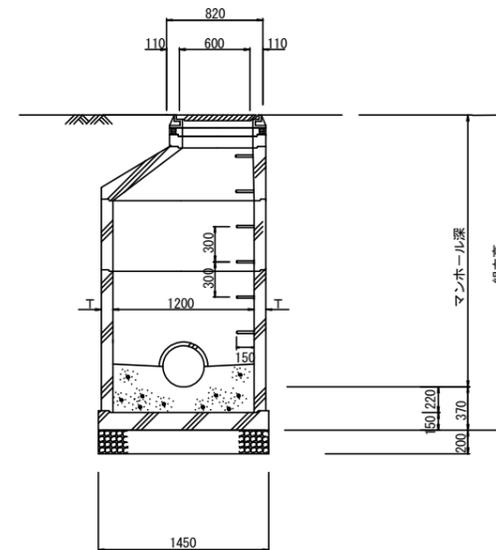
横断面図



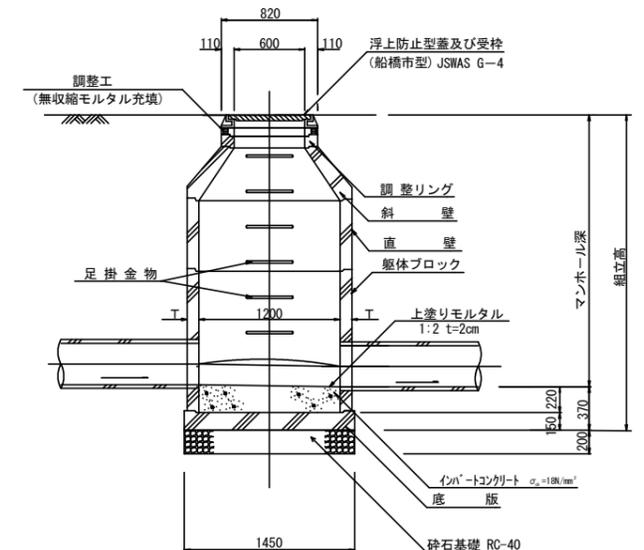
縦断面図



横断面図



縦断面図



組立高	部材種類	厚さT (mm)
0m ~ 5m	I種	100
5m ~ 10m	II種	125

人孔深	中間スラブ箇所数
0m ~ 5m	0箇所
5m ~ 8m	1箇所
8m ~ 12m	2箇所
12m ~ 16m	3箇所
16m ~ 20m	4箇所

※マンホール本体は (JSWAS A-11) を使用すること。

※人孔深が2m以上の場合、転落防止用梯子を設置すること

※人孔深が5m以上となる場合は、中間スラブを設置する。尚、構造・設置位置については監督職員と協議すること

※組立高が5~10mの部分にはII種を使用し、10mを超える箇所については適応除外すること

※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること

※設置条件により、マンホールタイプを使い分けること

※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する

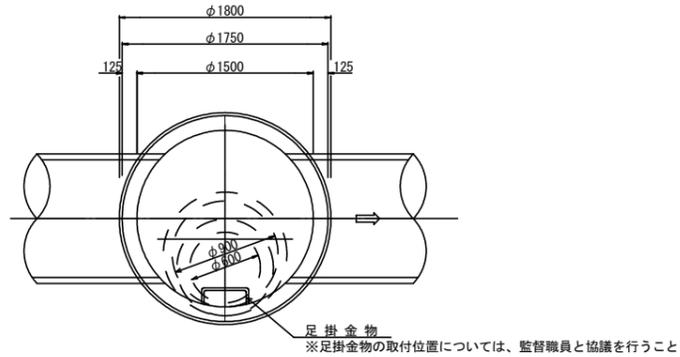
※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立2号マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B6
船橋市 下水道河川整備課	

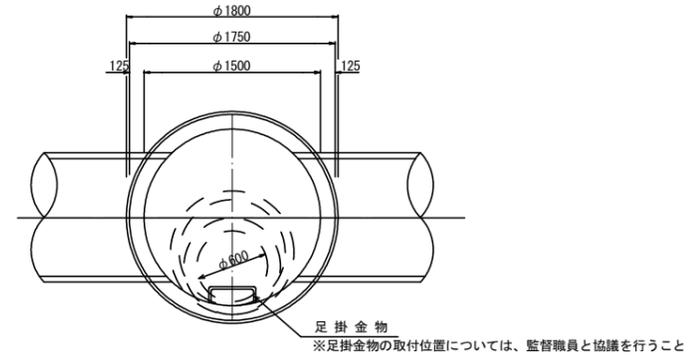
組立 3号マンホール構造図

S=1:30

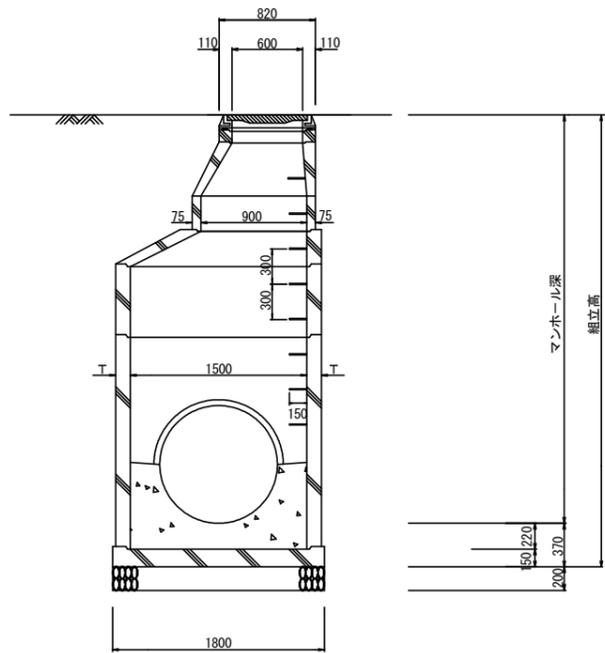
平面図



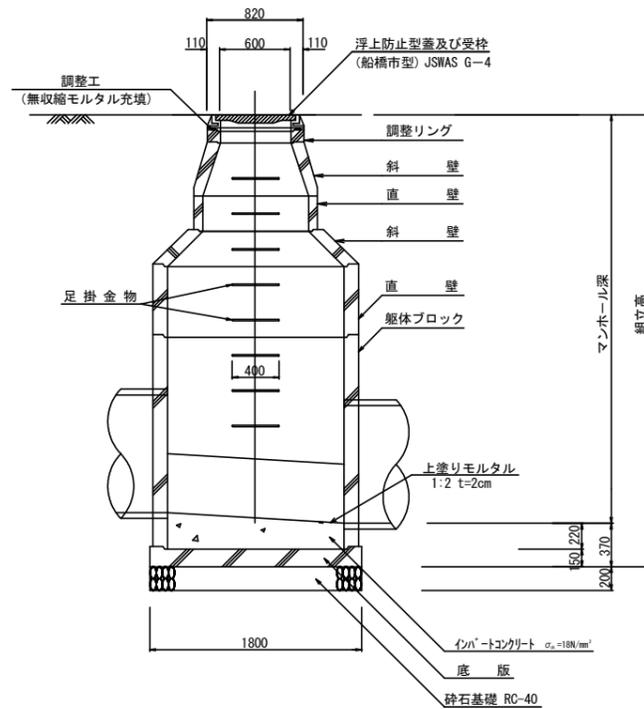
平面図



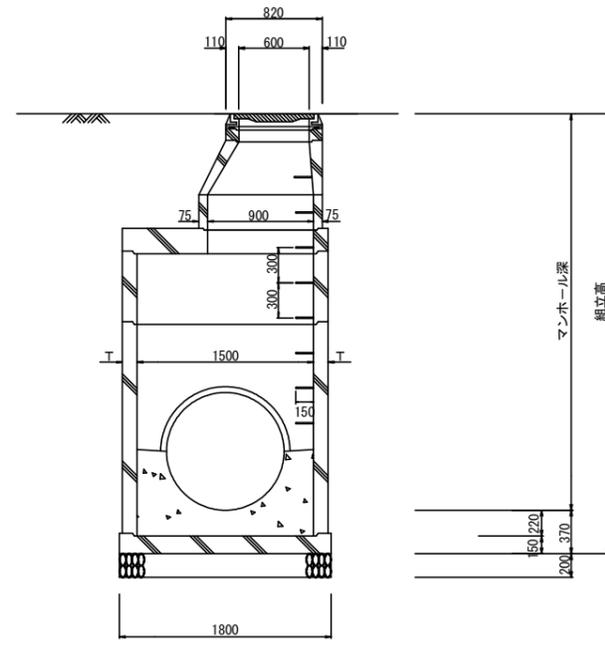
横断面図



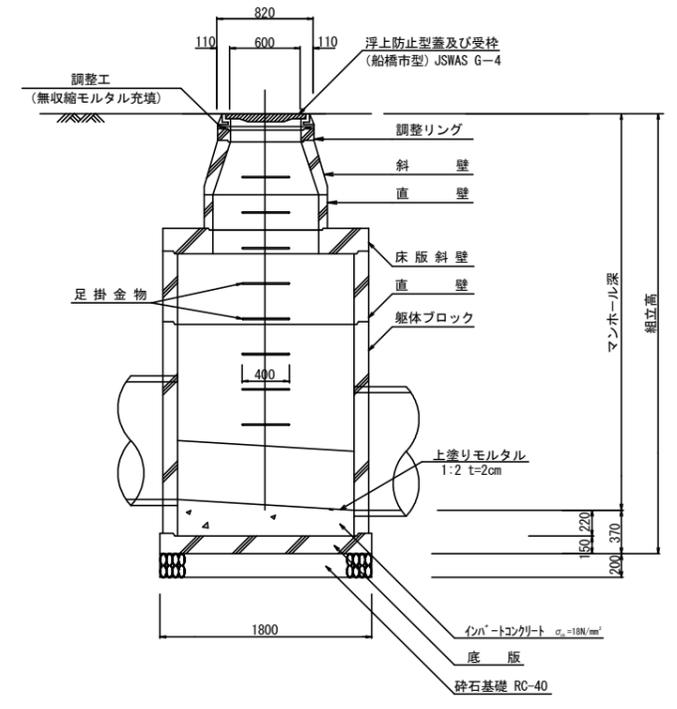
縦断面図



横断面図



縦断面図



組立高	部材種類	厚さT (mm)
0m ~ 5m	I種	125
5m ~ 10m	II種	150

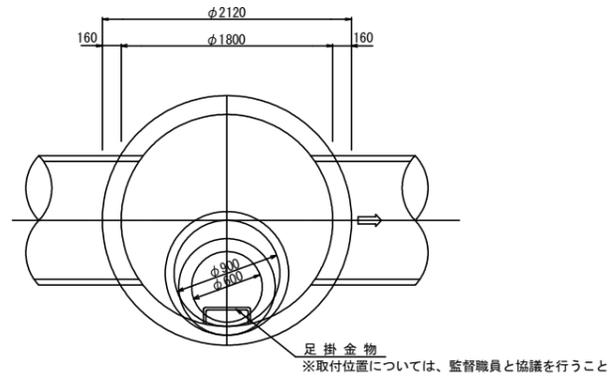
人孔深	中間スラブ箇所数
0m ~ 5m	0箇所
5m ~ 8m	1箇所
8m ~ 12m	2箇所
12m ~ 16m	3箇所
16m ~ 20m	4箇所

※マンホール本体は (JSWAS A-11) を使用すること。
 ※人孔深が2m以上の場合、転落防止用梯子を設置すること
 ※人孔深が5m以上となる場合は、中間スラブを設置する。尚、構造・設置位置については監督職員と協議すること
 ※組立高が5~10mの部分にはII種を使用し、10mを超える箇所については適応除外すること
 ※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること
 ※設置条件により、マンホールタイプを使い分けること
 ※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する
 ※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

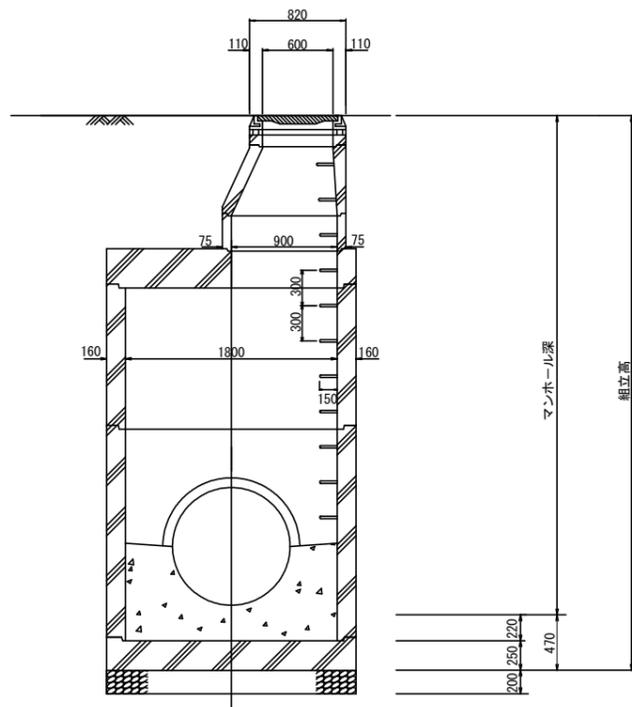
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立3号マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B7
船橋市 下水道河川整備課	

組立 4号マンホール構造図 S=1:30

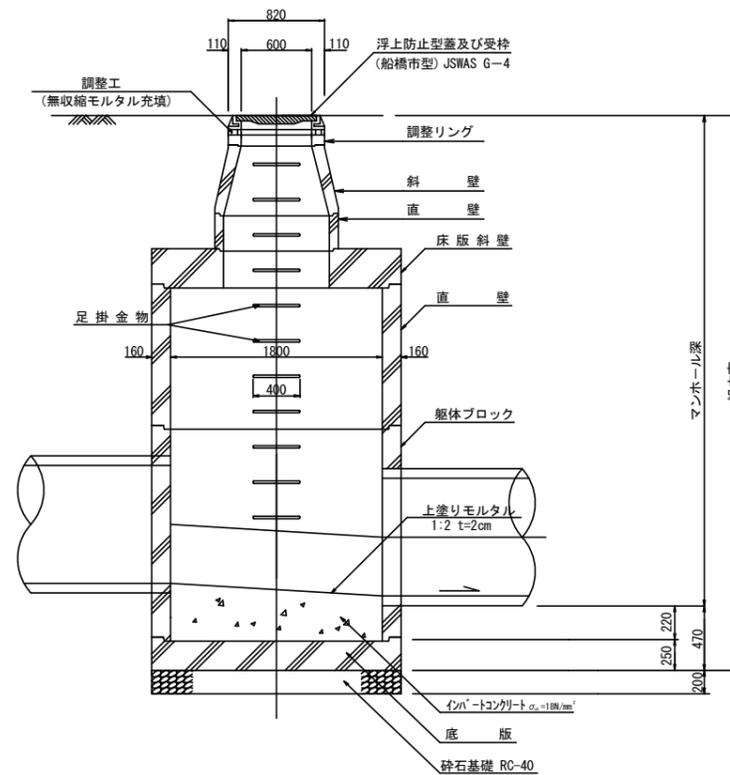
平面図



横断面図



縦断面図



人孔深	中間スラブ箇所数
0m ~ 5m	0箇所
5m ~ 8m	1箇所
8m ~ 12m	2箇所
12m ~ 16m	3箇所
16m ~ 20m	4箇所

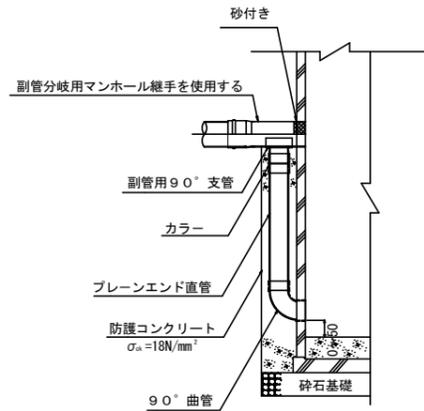
※マンホール本体は (JSWAS A-11) を使用すること。
 ※人孔深が2m以上の場合、転落防止用梯子を設置すること
 ※人孔深が5m以上となる場合は、中間スラブを設置する。尚、構造・設置位置については監督職員と協議すること
 ※組立高が5~10mの部分にはⅡ種を使用し、10mを超える箇所については適応除外すること
 ※インバートの線形は水をスムーズに流せる構造とし、上流と下流管を接合すること
 ※設置条件により、マンホールタイプを使い分ける
 ※調整工には、枠の変形防止を考慮した構造を有する高さ調整部材の使用を推奨する
 ※耐震構造図 (図面番号S-G1) を参照すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	組立4号マンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	S-B8
船橋市 下水道河川整備課	

副管構造図 S=1:30

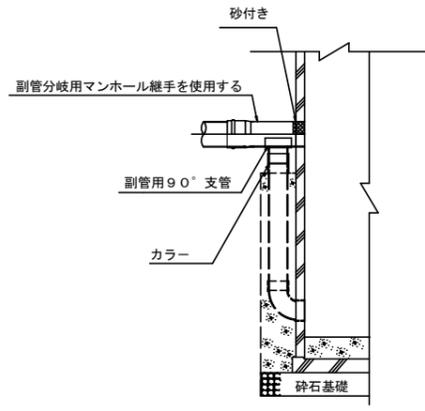
外副管（全体施工）

断面図



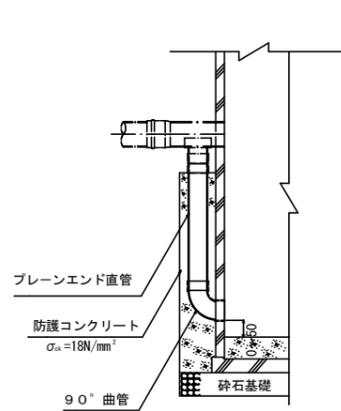
外副管（上部施工）

断面図



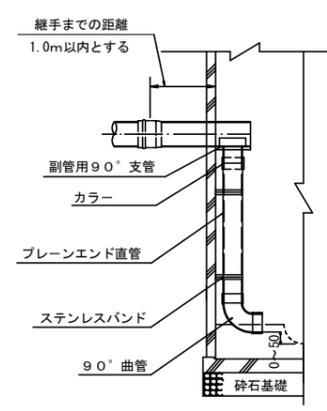
外副管（下部施工）

断面図



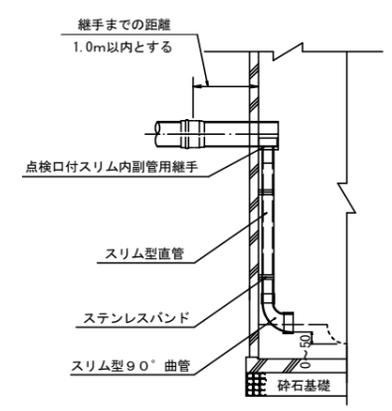
内副管（全体施工）

断面図

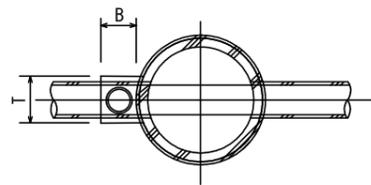


スリム型内副管（全体施工）

断面図



平面図



本管径 (mm)	副管径 (mm)		コンクリート寸法 (mm)	
	分流式	合流式	B	T
200	150	150	300	350
250	200	200	350	400
300	200	200	350	400
350	200	200	350	400
400	200	200	350	400
450	250	250	400	450
500	※	250	400	450
600	※	300	450	500
700以上	※	※	※	※

※別途考慮する

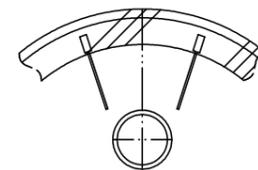
※内副管継手は張付けタイプの使用も可とする
 ※内副管継手の点検口キャップは取り外すこと
 ※ステンレスバンドは以下の通りに設置する

設置高 3m以下	2箇所
設置高 3m~4.5m	3箇所
設置高 4.5m~6m	4箇所

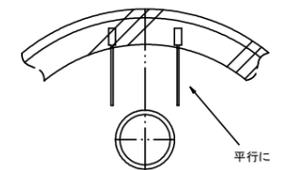
※以下、設置高 1.5m毎にバンドを1箇所ずつ追加する。

※ステンレスバンドは以下の点に注意して設置する

- ・アンカー挿入孔とアンカーボルトの隙間に、コーキングを行うこと。
- ・アンカーボルトは平行に設置すること(下図参照)。



×



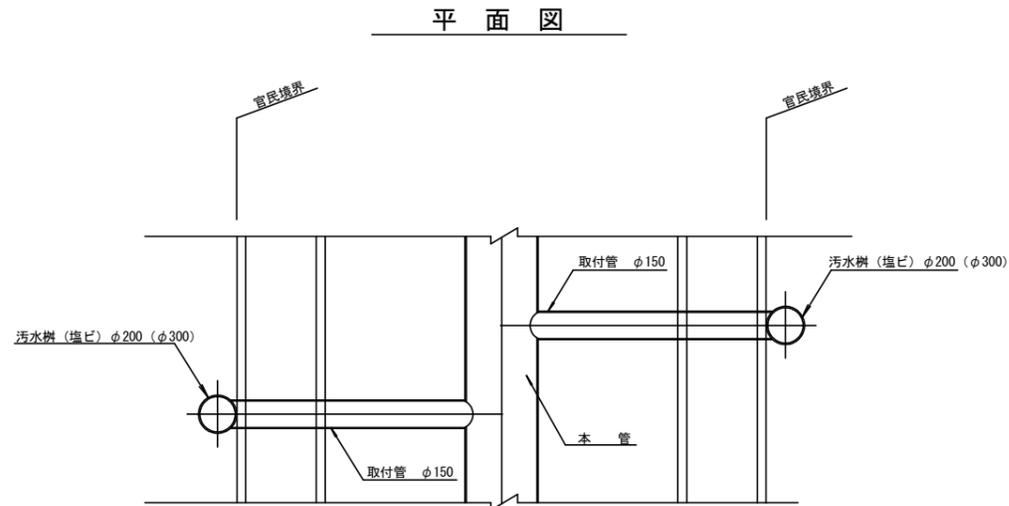
○

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	副管構造図
縮尺	図示
図面番号	S-C1
船橋市 下水道河川整備課	

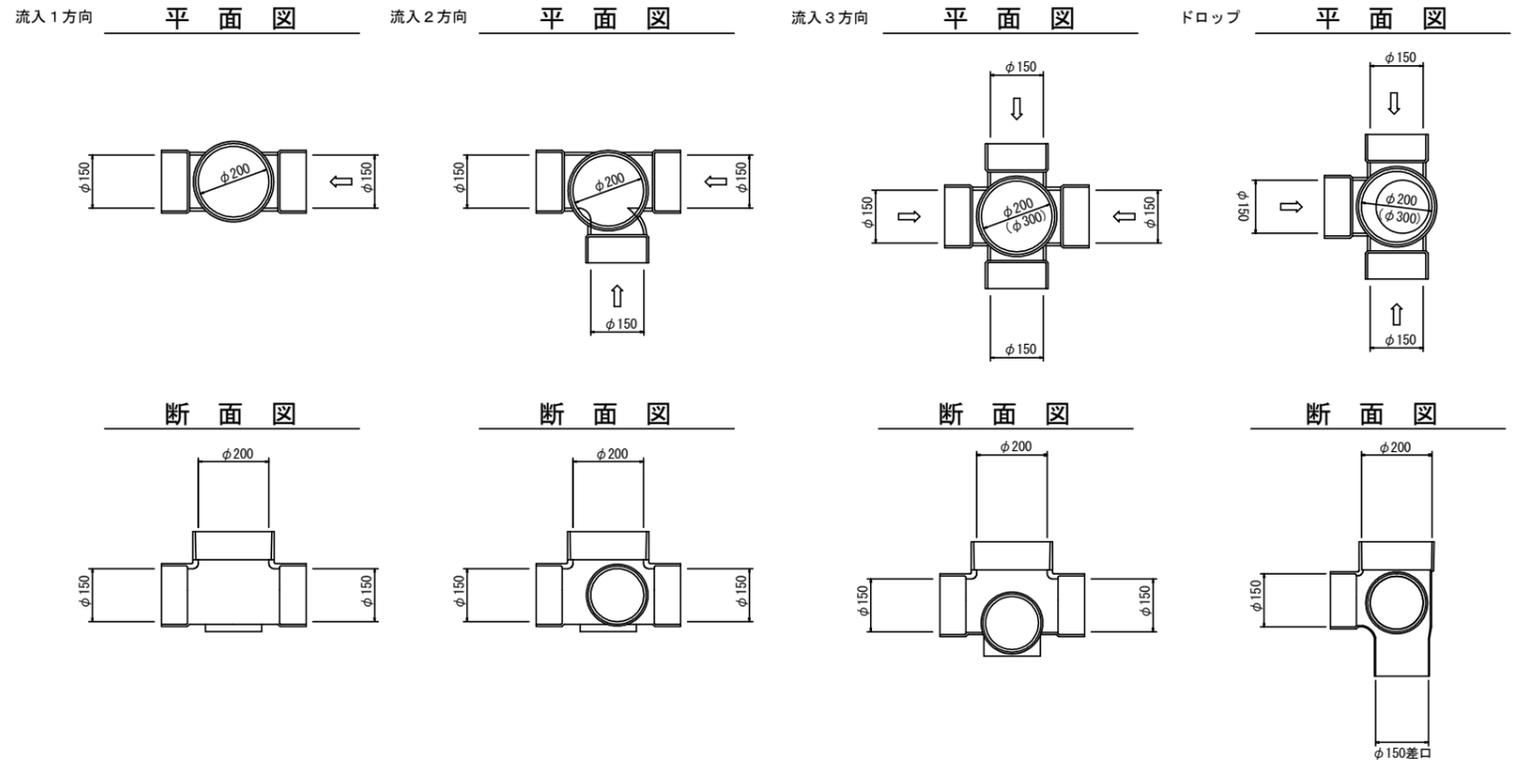
ます(汚水)構造図

塩ビ製

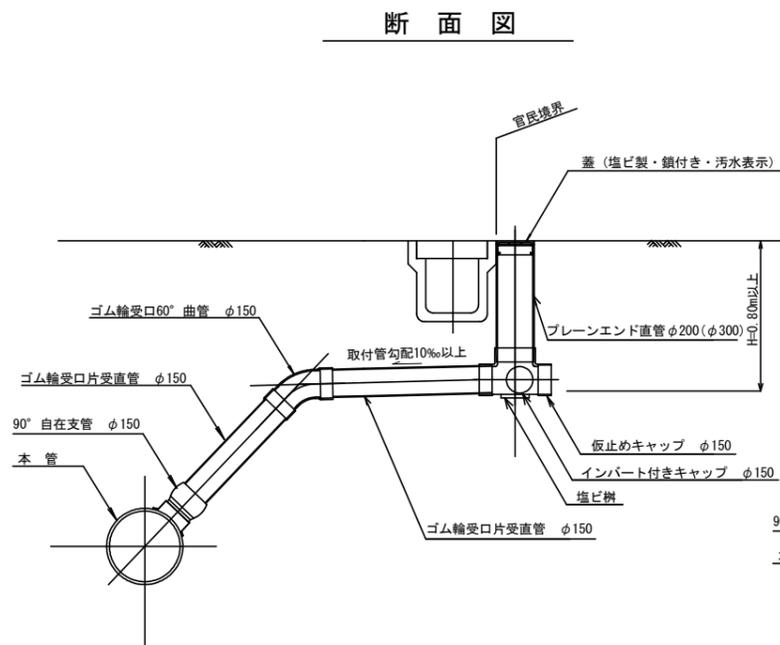
取付管及び柵布設図 S=1:20



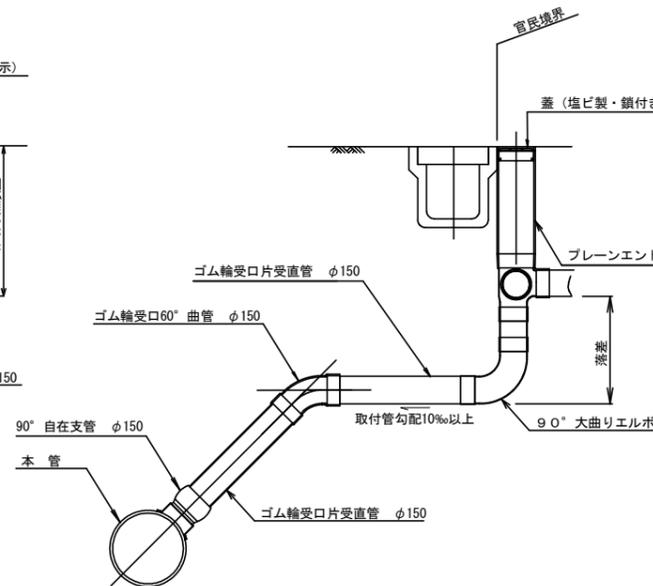
柵・インバート継手詳細図 S=1:10



取付管詳細図 S=1:20

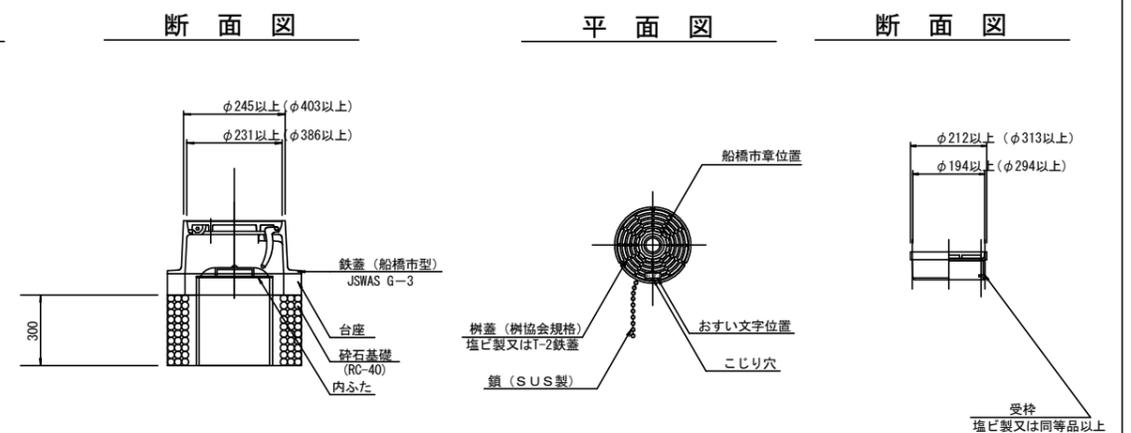


断面図 (ドロップの場合)
落差0.5m以上の場合に採用する



柵蓋詳細図 S=1:10

() 内寸法はφ300の場合



※ます本体は (JSWAS K-7) を使用すること。

※設置条件により、インバートタイプおよび蓋タイプを使い分ける
※各接合部はゴム輪接合を用いること

※ます深さ1.5m以上2.0m未満の場合はφ300のますの設置を基本とする

() 内寸法はφ300の場合を示す

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	ます(汚水)構造図・塩ビ製
縮尺	図示
図面番号	S-D1-1
船橋市 下水道河川整備課	

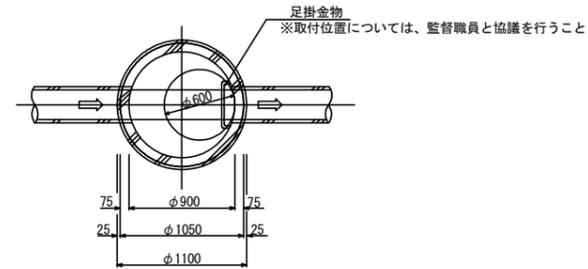
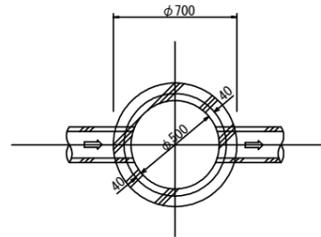
ます(汚水)構造図 S=1:20

コンクリート製

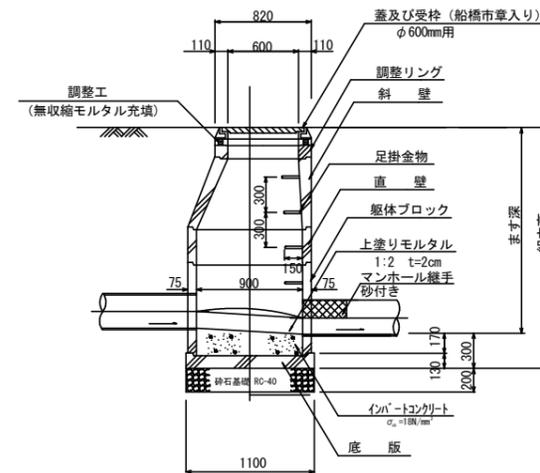
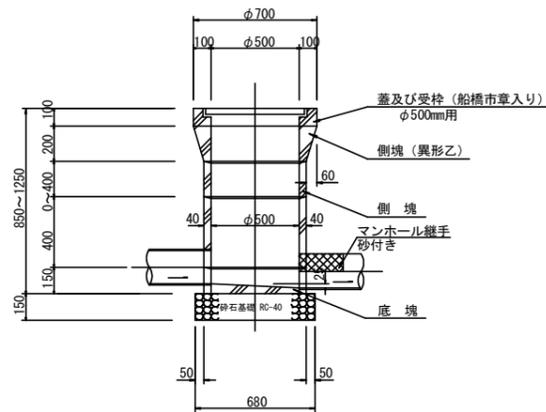
汚水桧 φ500

1号組立

平面図



断面図



※取付管については、S-D1-1ます(汚水)構造図・S-D1-2ます(汚水)構造図(防災拠点)の取付管詳細図を参照すること
 ※ます深さ2.0m以上の場合は組立1号人孔の設置を基本とする

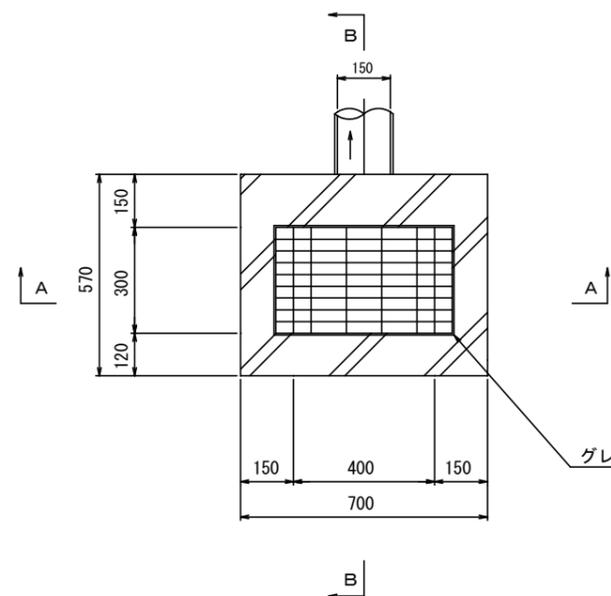
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	ます(汚水)構造図・コンクリート製
縮尺	図示
図面番号	S-D2
船橋市 下水道河川整備課	

ます(雨水)構造図 S=1:10

コンクリート製 (二次製品タイプ)

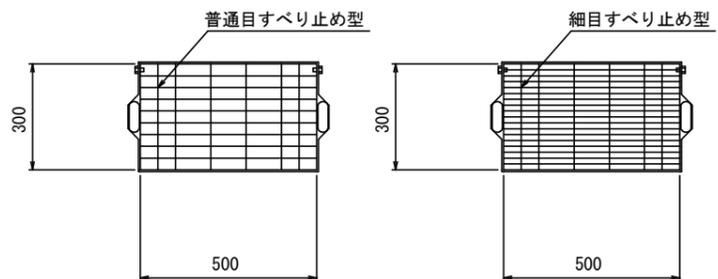
雨水枡構造図

平面図

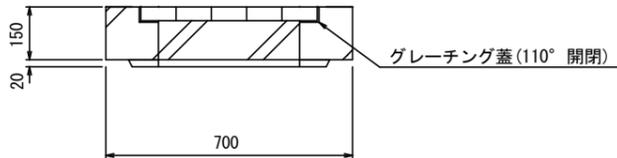


グレーチング蓋(110° 開閉)

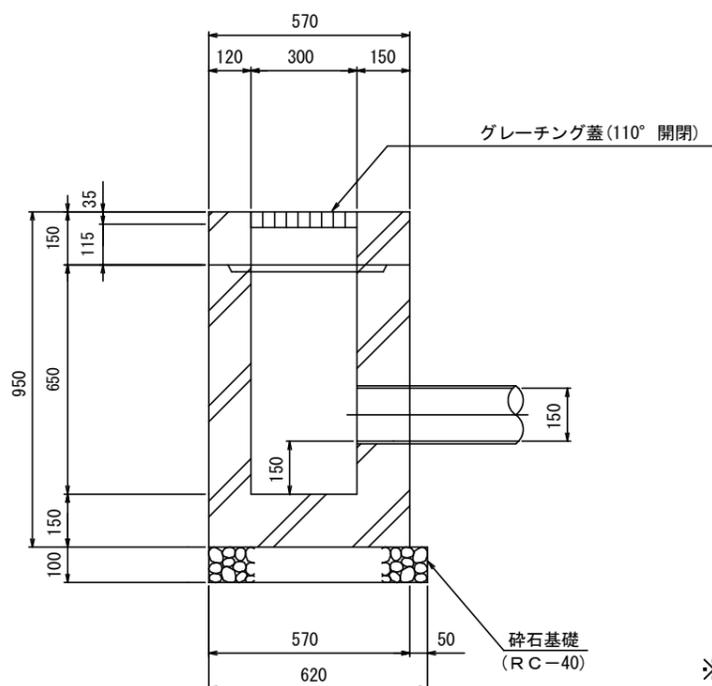
グレーチング蓋(110° 開閉)



上部側塊断面図



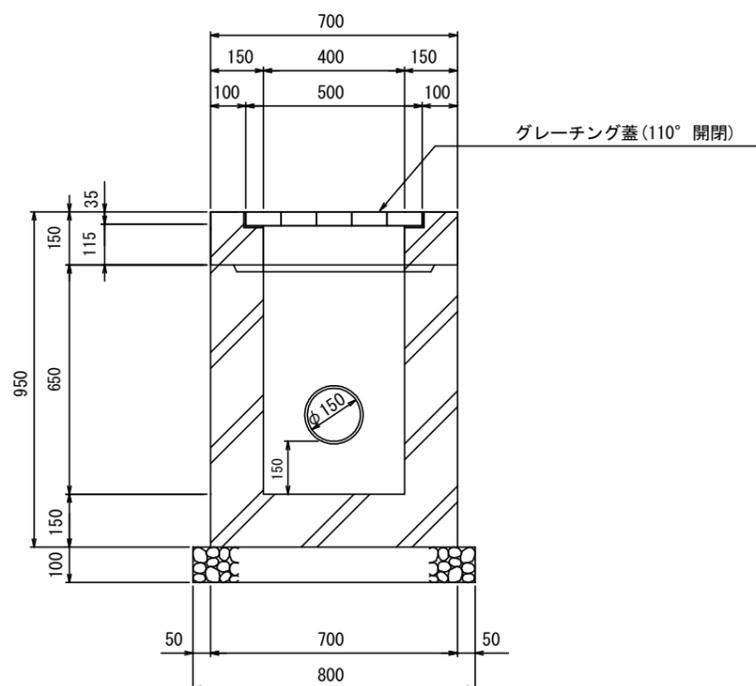
B-B断面図



グレーチング蓋(110° 開閉)

砕石基礎 (RC-40)

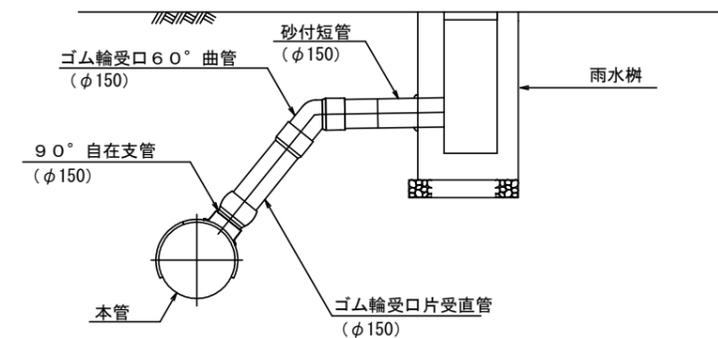
A-A断面図



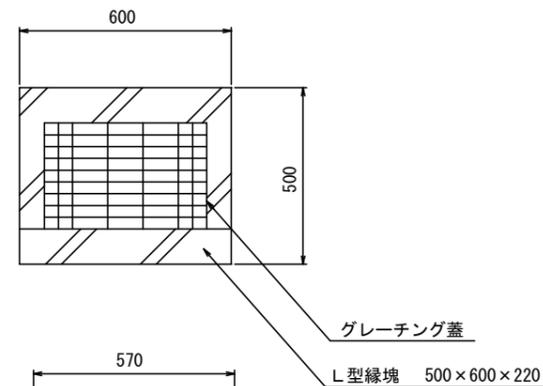
グレーチング蓋(110° 開閉)

雨水枡構造図

縮尺 1:20

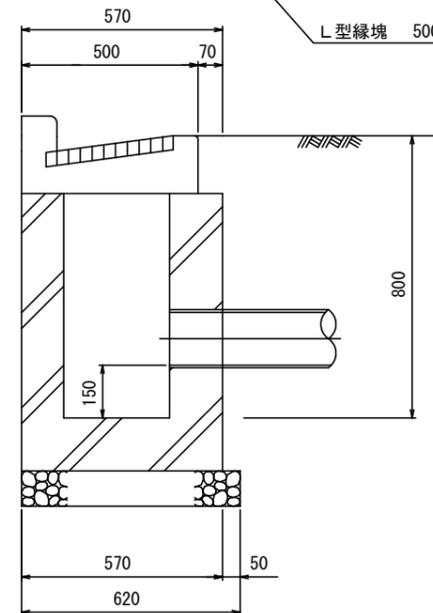


L形用



グレーチング蓋

L型縁塊 500×600×220



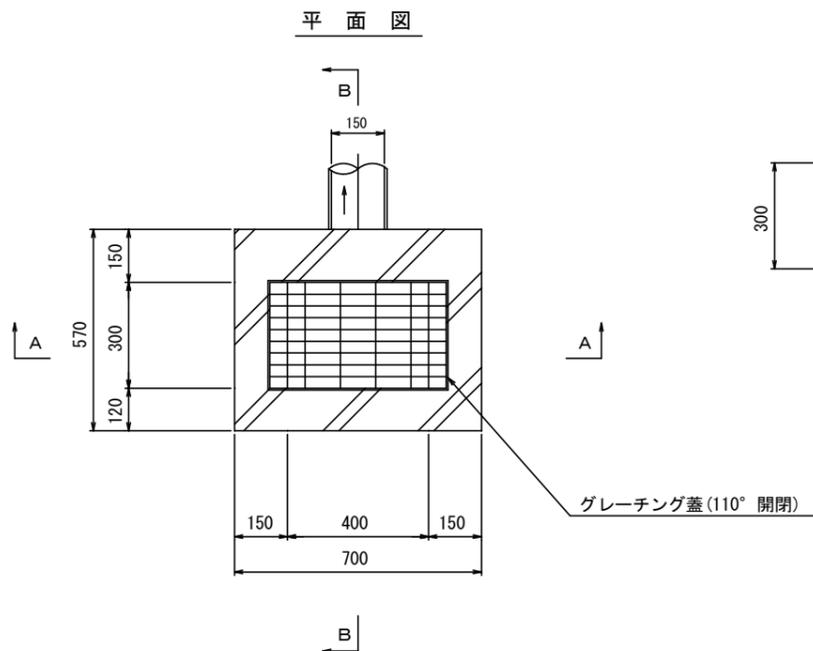
※設置条件により、グレーチング蓋タイプを使い分ける
※各接合部はゴム輪接合を用いること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	ます(雨水)構造図・二次製品
縮尺	図示
図面番号	S-D3
船橋市 下水道河川整備課	

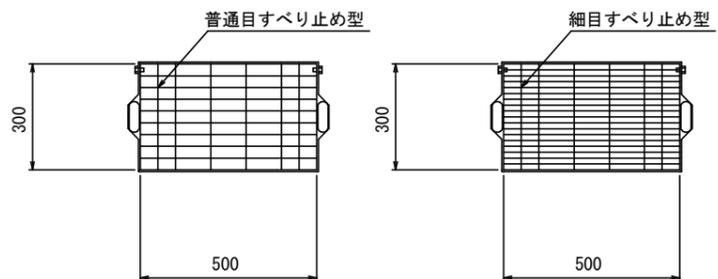
ます(雨水)構造図 S=1:10

コンクリート製(現場打タイプ)

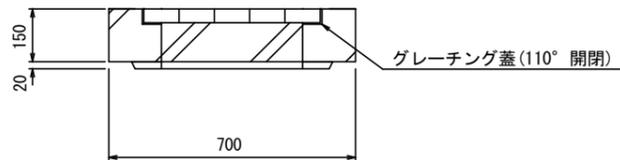
雨水枡構造図



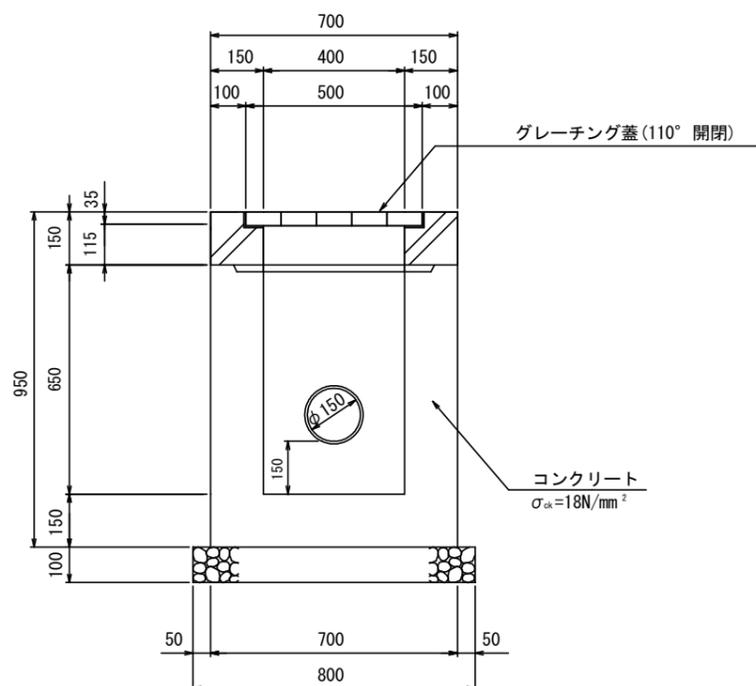
グレーチング蓋(110°開閉)



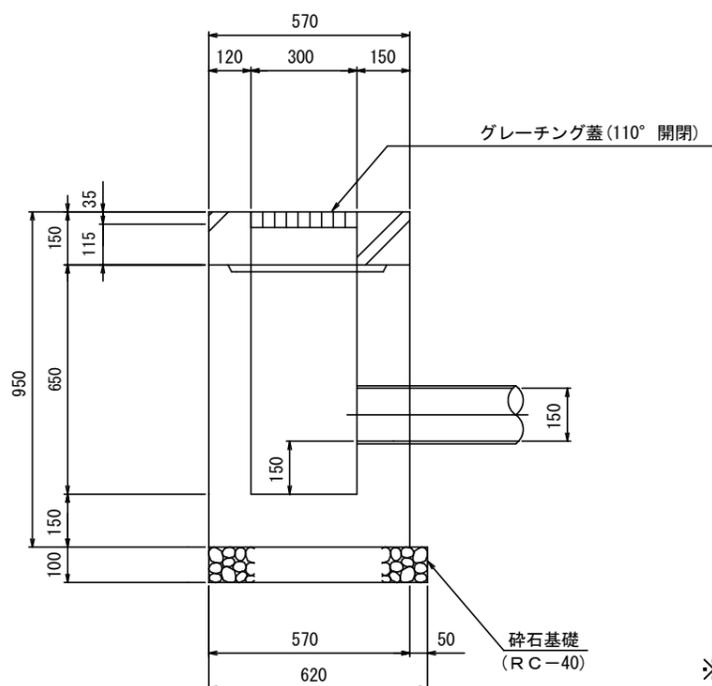
上部側塊断面図



A-A断面図

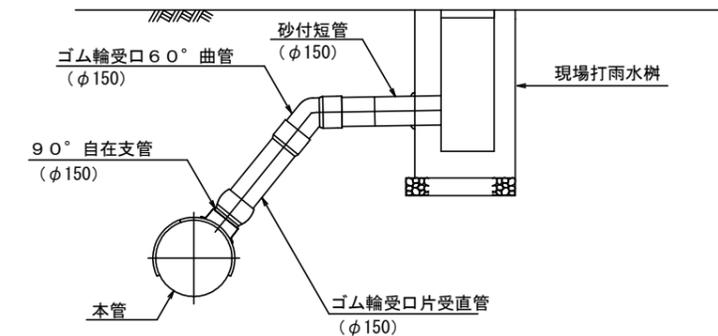


B-B断面図

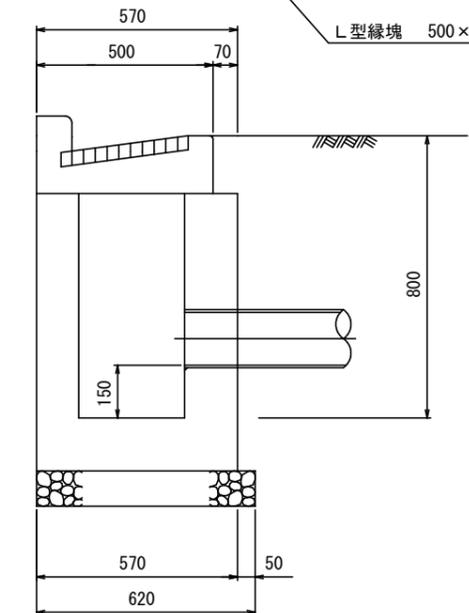
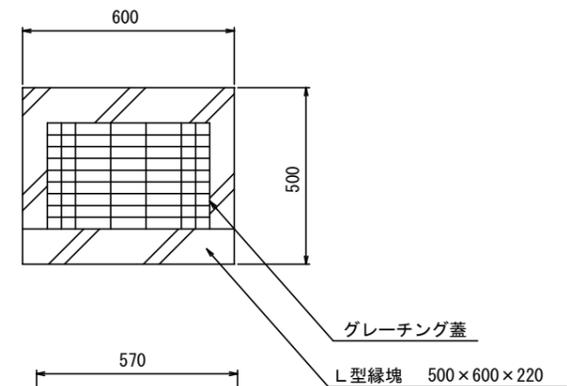


現場打雨水枡

縮尺 1:20



L形用



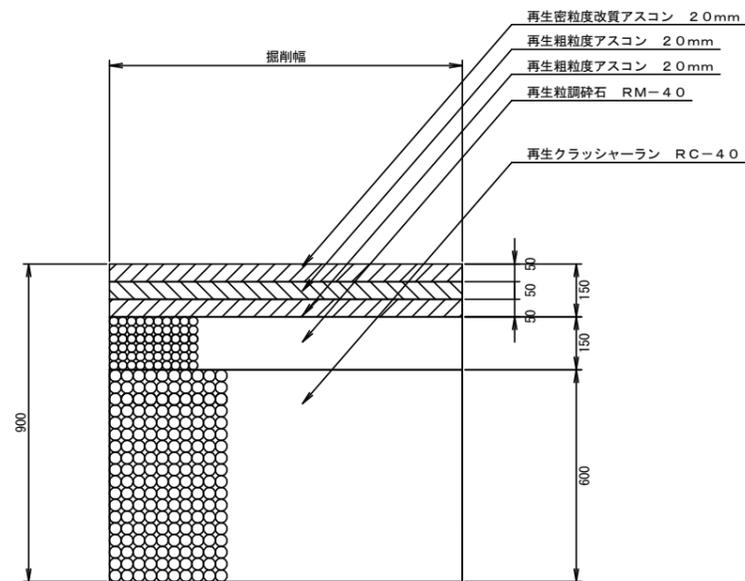
※設置条件により、グレーチング蓋タイプを使い分ける
 ※各接合部はゴム輪接合を用いること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	ます(雨水)構造図・現場打
縮尺	図示
図面番号	S-D4
船橋市 下水道河川整備課	

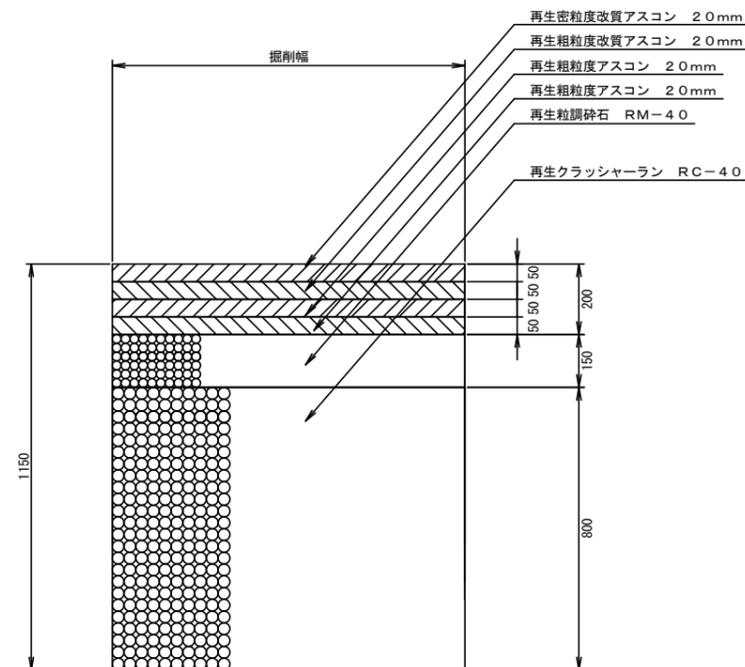
舗装復旧工 S=1:10

下層路盤・上層路盤・基層・表層 構造図

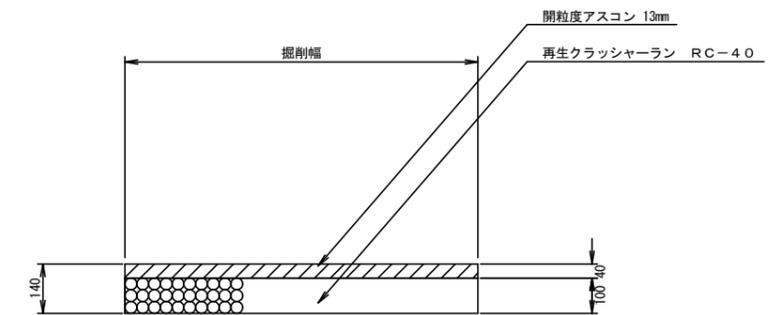
国県道（C交通構造車道）



国県道（D交通構造車道）



国県道（歩道）



県道（歩道） 切下げ部の場合

切下げ幅	アスファルト合材厚 (mm) 開粒度アスコン 13mm	路盤厚 (mm)
4m以下	40	100 (注1)
		200 (注2)
6m以下	80	40 (表層)
		40 (基層)
8m以下	100	40 (表層)
		60 (基層)
		250~300
		300~400

(注1) 一般民家の乗用車のみを使用に供する場合
 (注2) 商店等で小型トラックが頻繁に出入りする場合

※舗装構成の適用は、道路管理者の指示による

国道14号、296号、464号及び県道については千葉県葛南土木事務所に確認すること
 国道16号、357号については、千葉国道事務所船橋出張所に確認すること

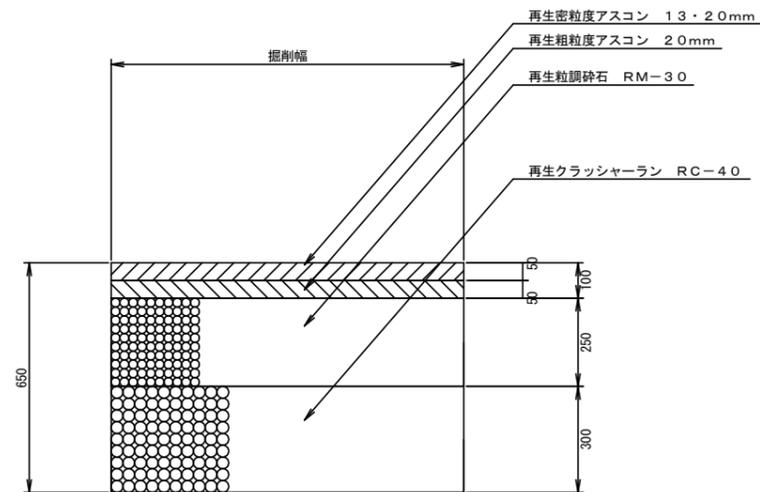
※路盤の1層転圧厚さは、使用機械による

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	舗装復旧工・国県道 下層路盤・上層路盤・基層・表層構造図
縮尺	図示
図面番号	S-E1
船橋市 下水道河川整備課	

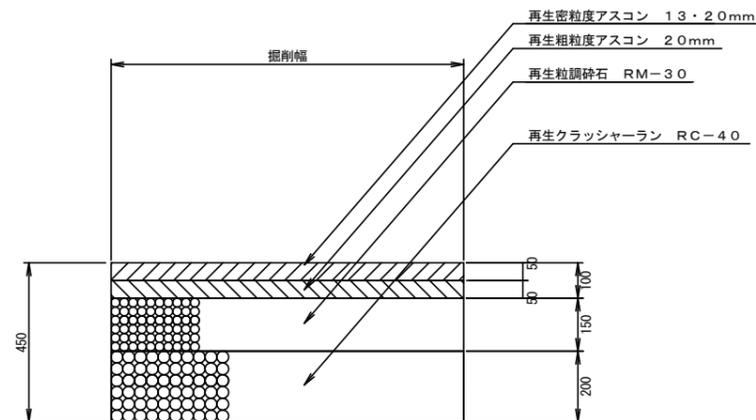
舗装復旧工 S=1:10

下層路盤・上層路盤・基層・表層 構造図

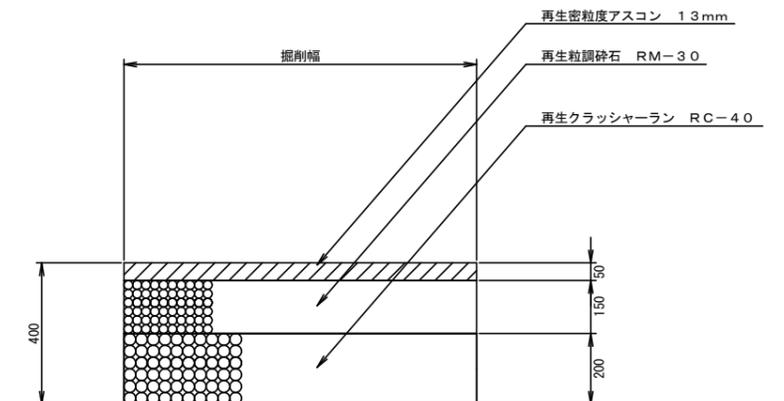
市道（幹線車道）



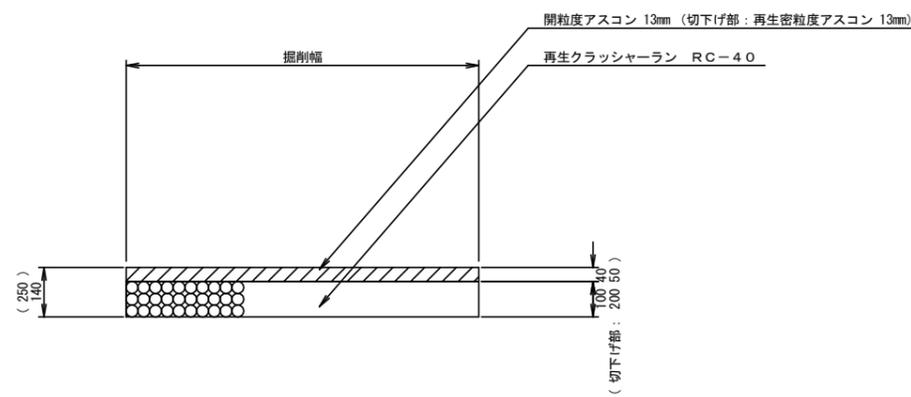
市道（準幹線車道）



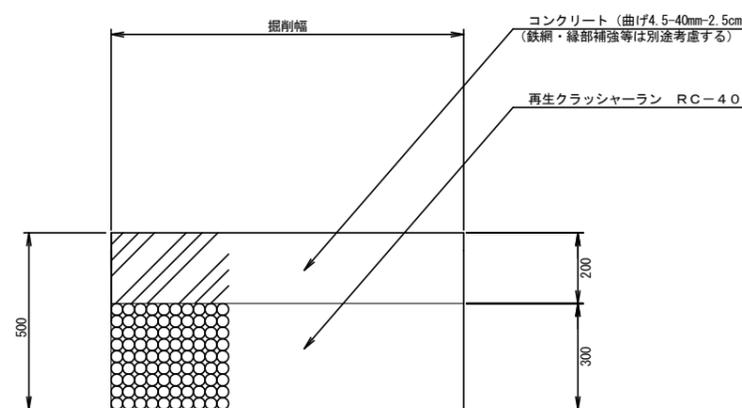
市道（一般車道）



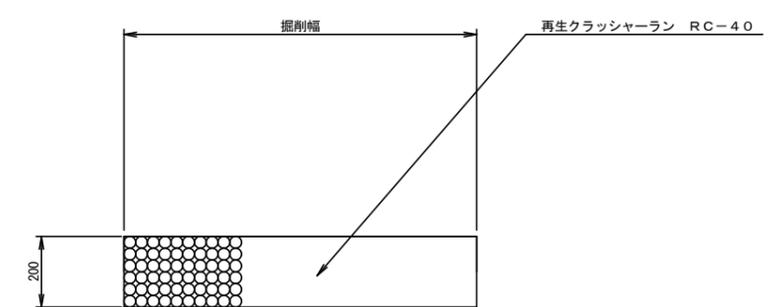
市道（歩道）



市道（コンクリート舗装）



砂利道



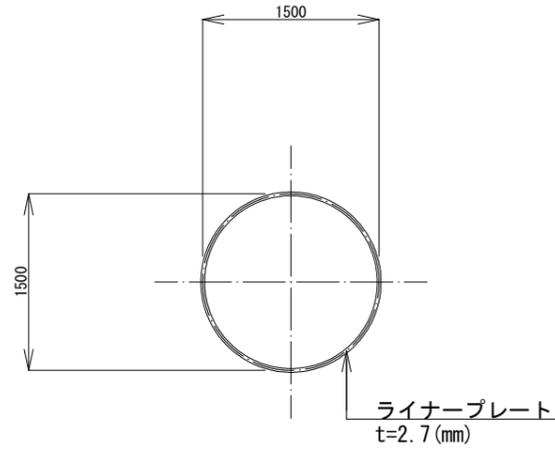
※舗装構成の適用は、道路管理者の指示による
※路盤の1層転圧厚さは、使用機械による

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	舗装復旧工・市道 下層路盤・上層路盤・基層・表層構造図
縮尺	図示
図面番号	S-E2
船橋市 下水道河川整備課	

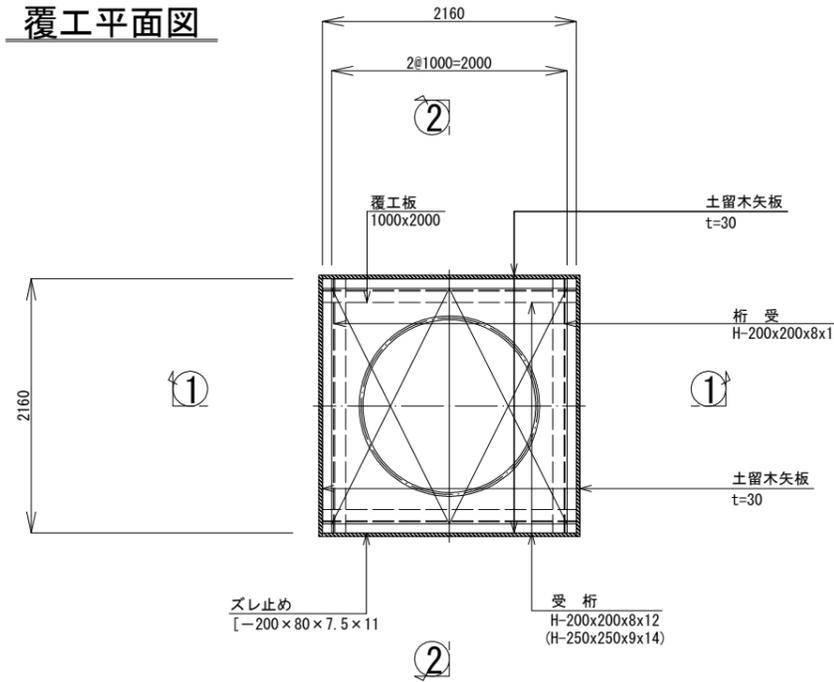
立坑構造図(ライナープレート) S=1:30

φ1500mm

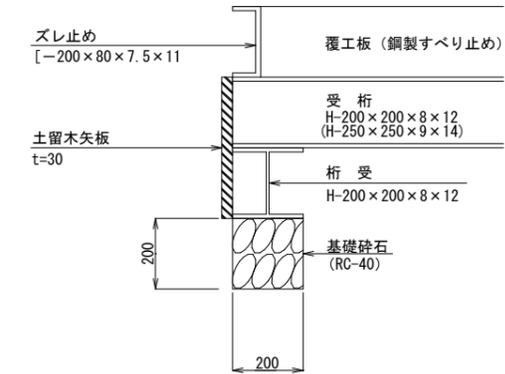
平面図



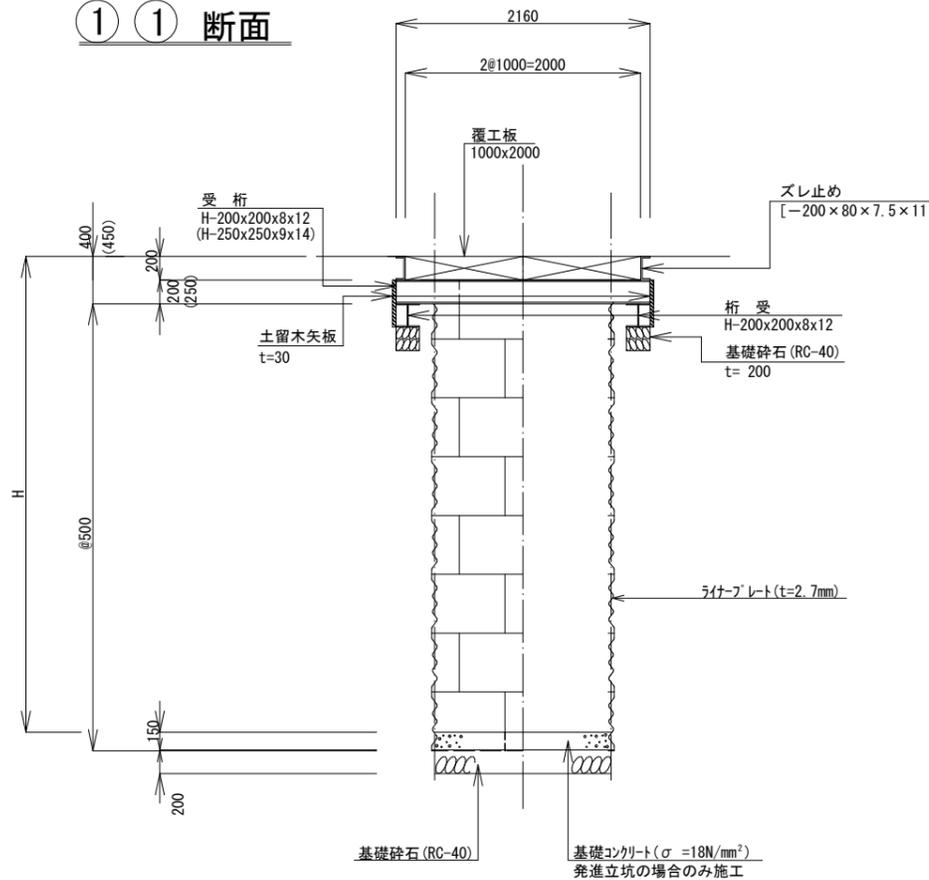
覆工平面図



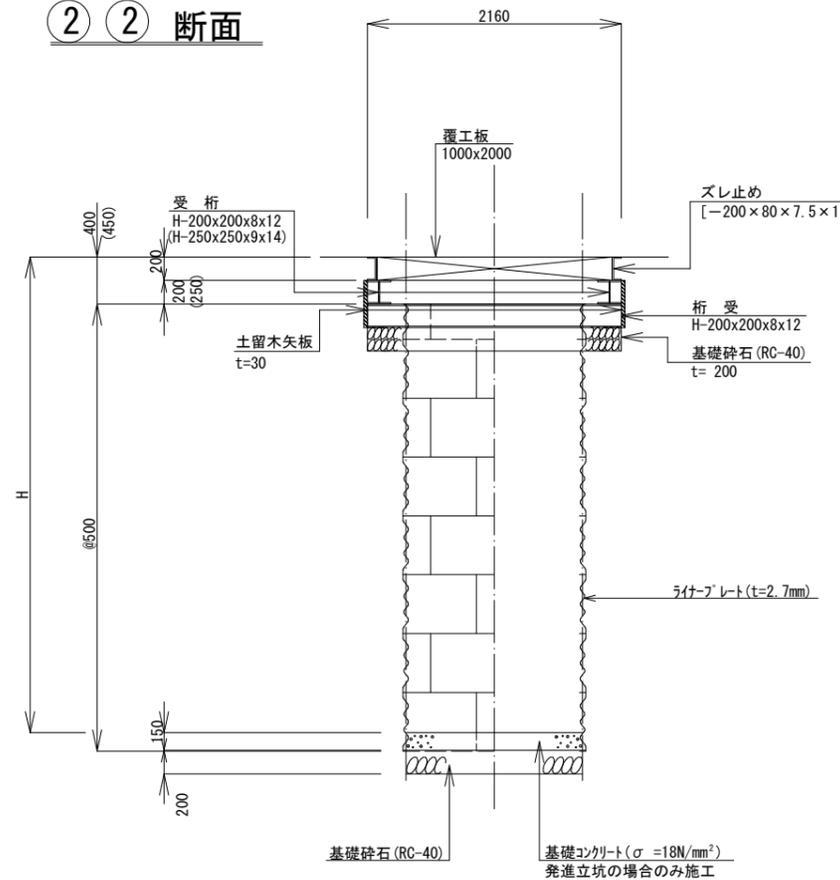
覆工基礎工 S=1:10



① ① 断面



② ② 断面



※国道、県道、および1級・2級幹線市道等のT-25対応路線は
()内数値とする

※Hは立坑深とする

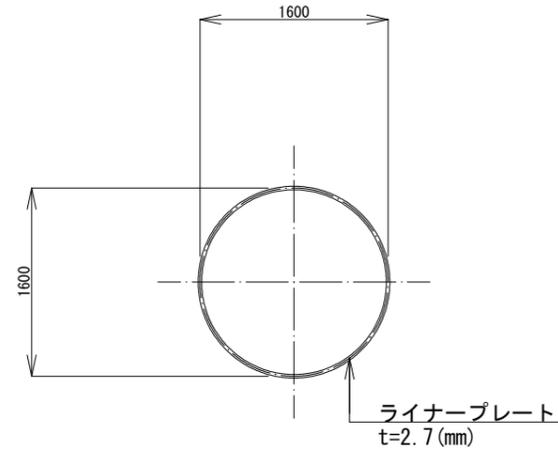
※裏込めは加工されたグラウトホールを使用し注入すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図(ライナープレートφ1500mm)
縮尺	図示
図面番号	S-F1
船橋市 下水道河川整備課	

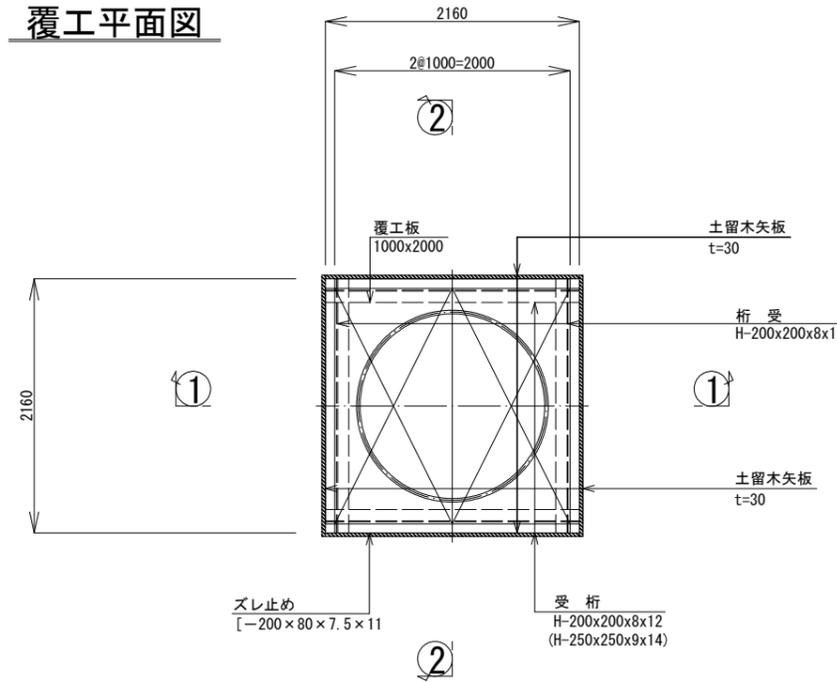
立坑構造図(ライナープレート) S=1:30

φ1600mm

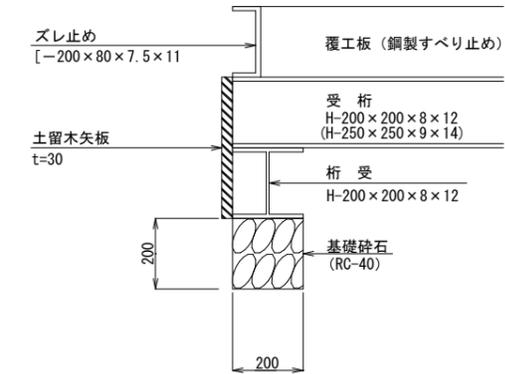
平面図



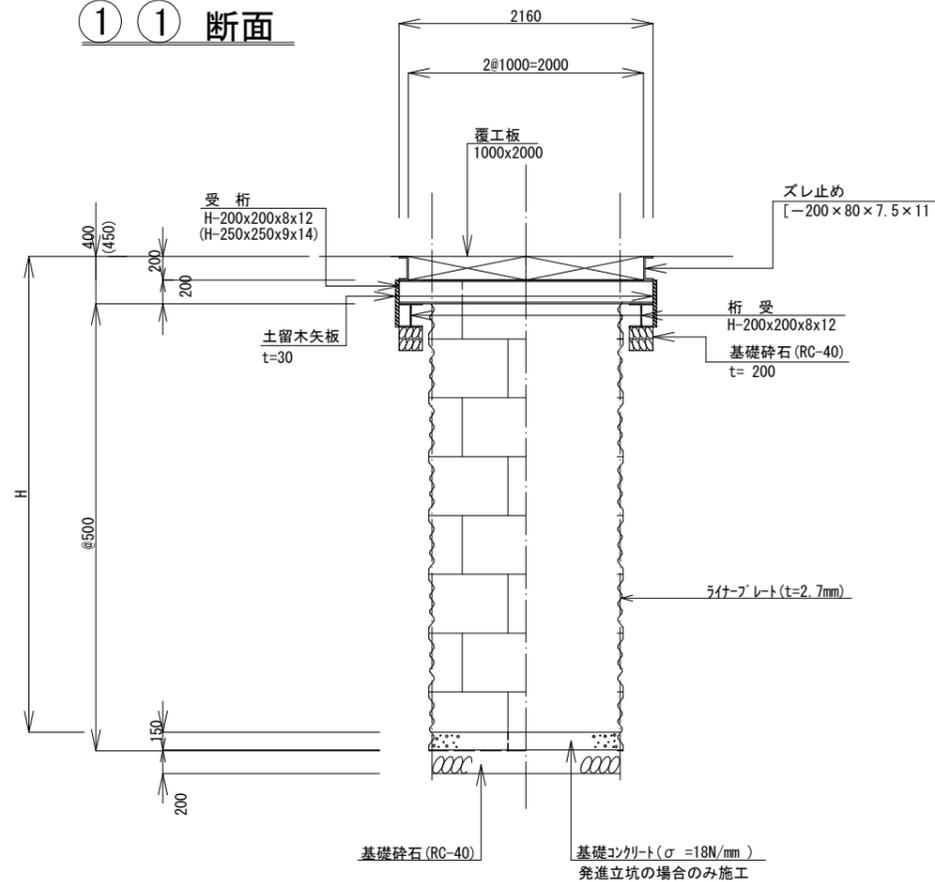
覆工平面図



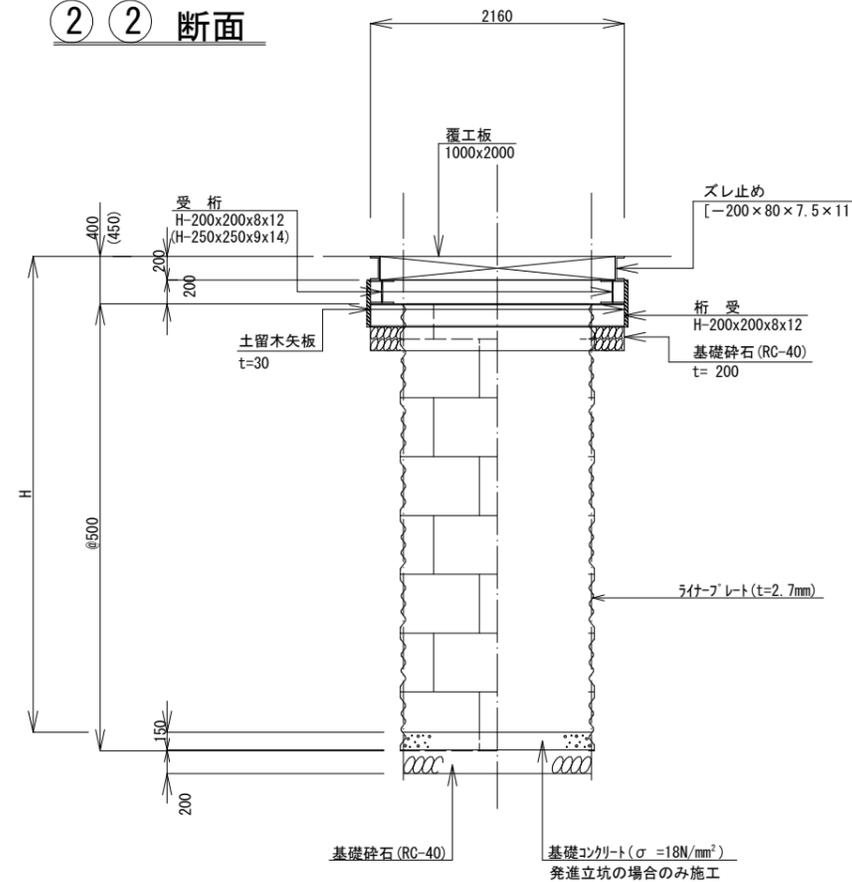
覆工基礎工 S=1:10



① ① 断面



② ② 断面



※国道、県道、および1級・2級幹線市道等のT-25対応路線は () 内数値とする

※Hは立坑深とする

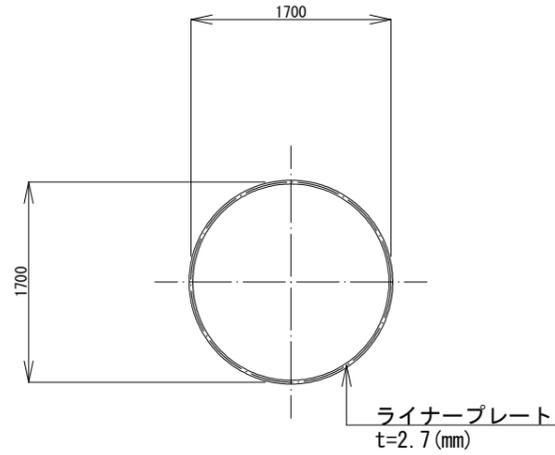
※裏込めは加工されたグラウトホールを使用し注入すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図(ライナープレートφ1600mm)
縮尺	図示
図面番号	S-F2
船橋市 下水道河川整備課	

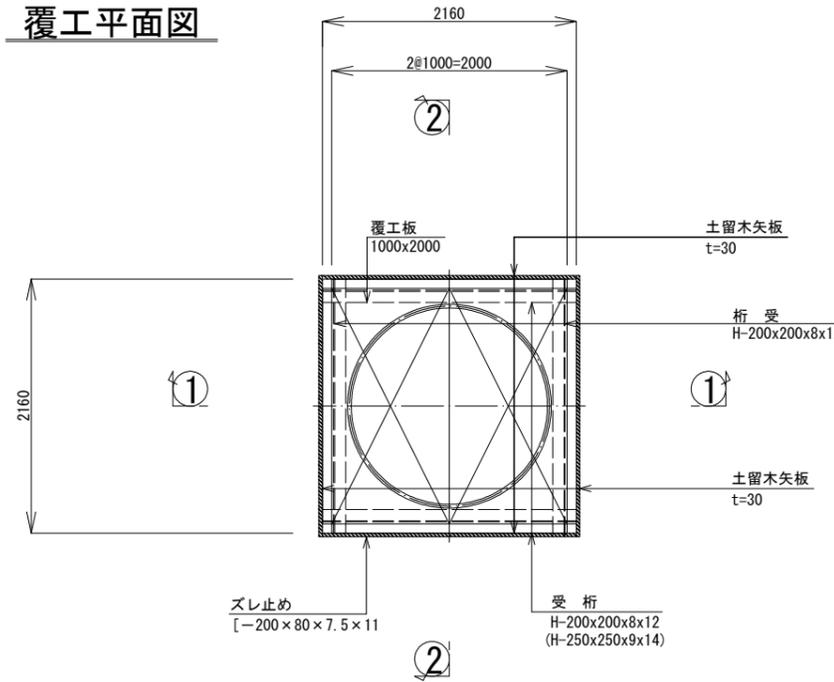
立坑構造図(ライナープレート) S=1:30

φ1700mm

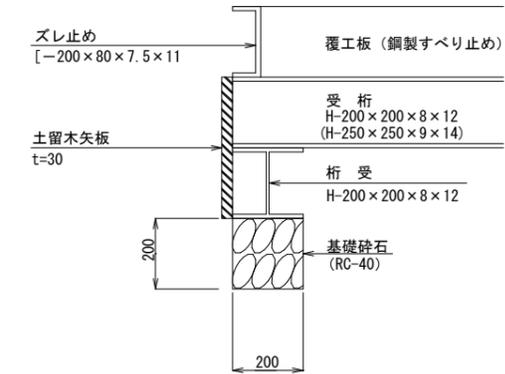
平面図



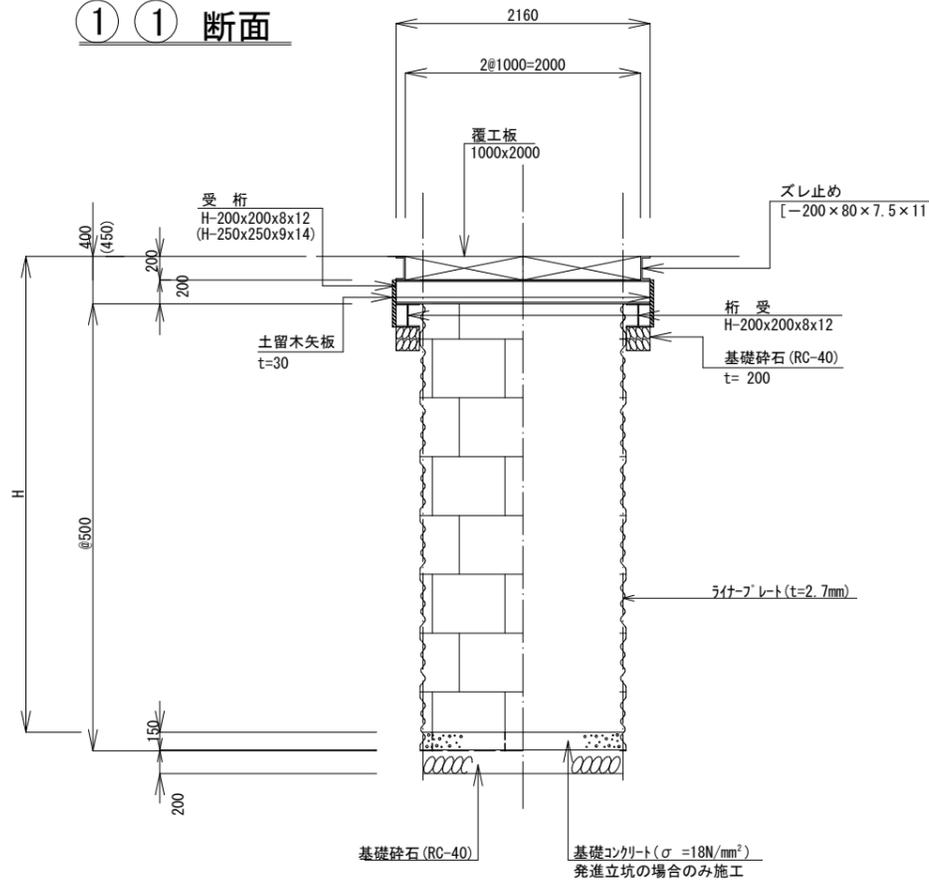
覆工平面図



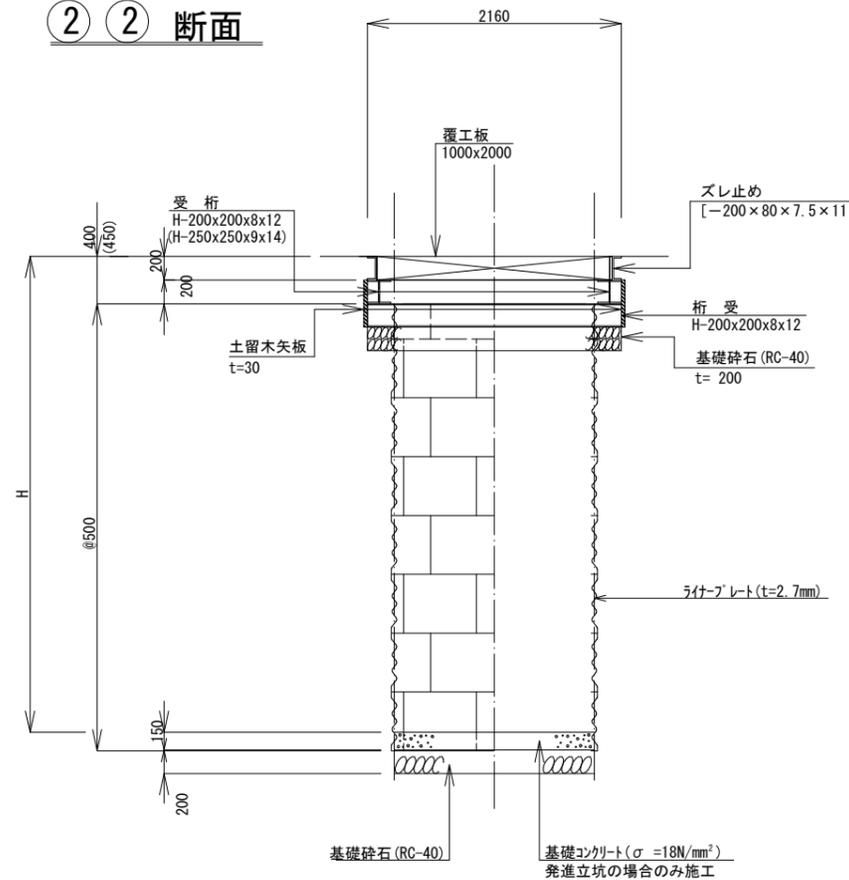
覆工基礎工 S=1:10



① ① 断面



② ② 断面



※国道、県道、および1級・2級幹線市道等のT-25対応路線は () 内数値とする

※Hは立坑深とする

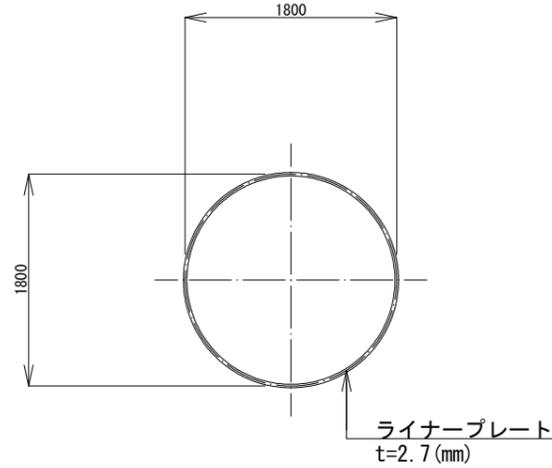
※裏込めは加工されたグラウトホールを使用し注入すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図(ライナープレートφ1700mm)
縮尺	図示
図面番号	S-F3
船橋市 下水道河川整備課	

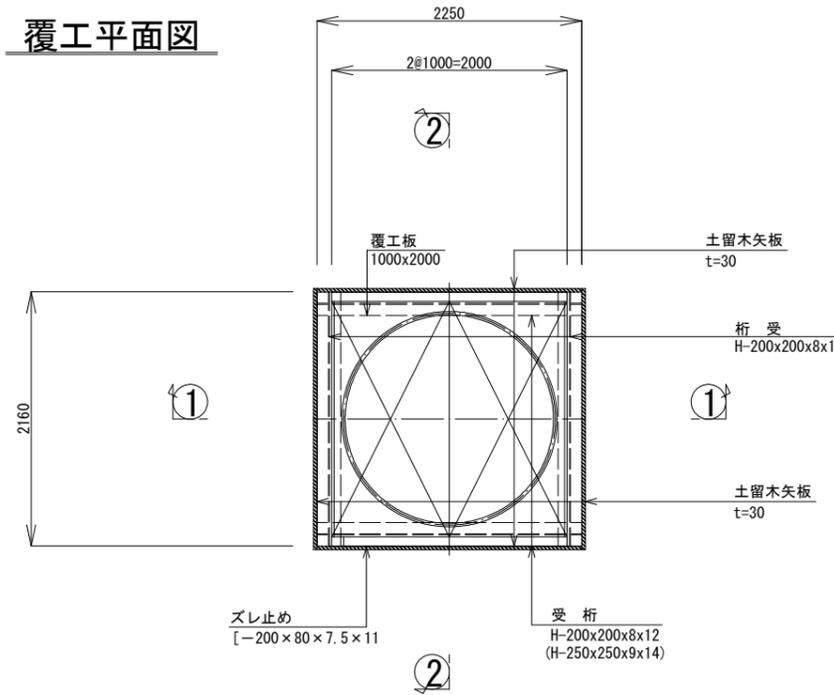
立坑構造図(ライナープレート) S=1:30

φ1800mm

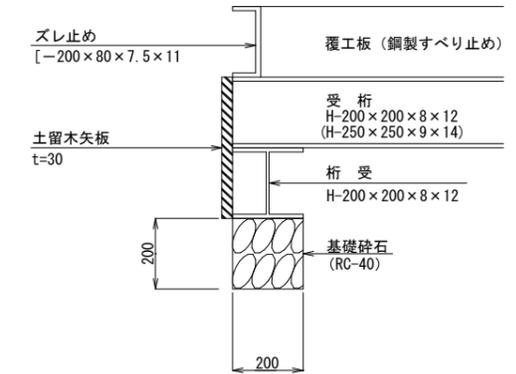
平面図



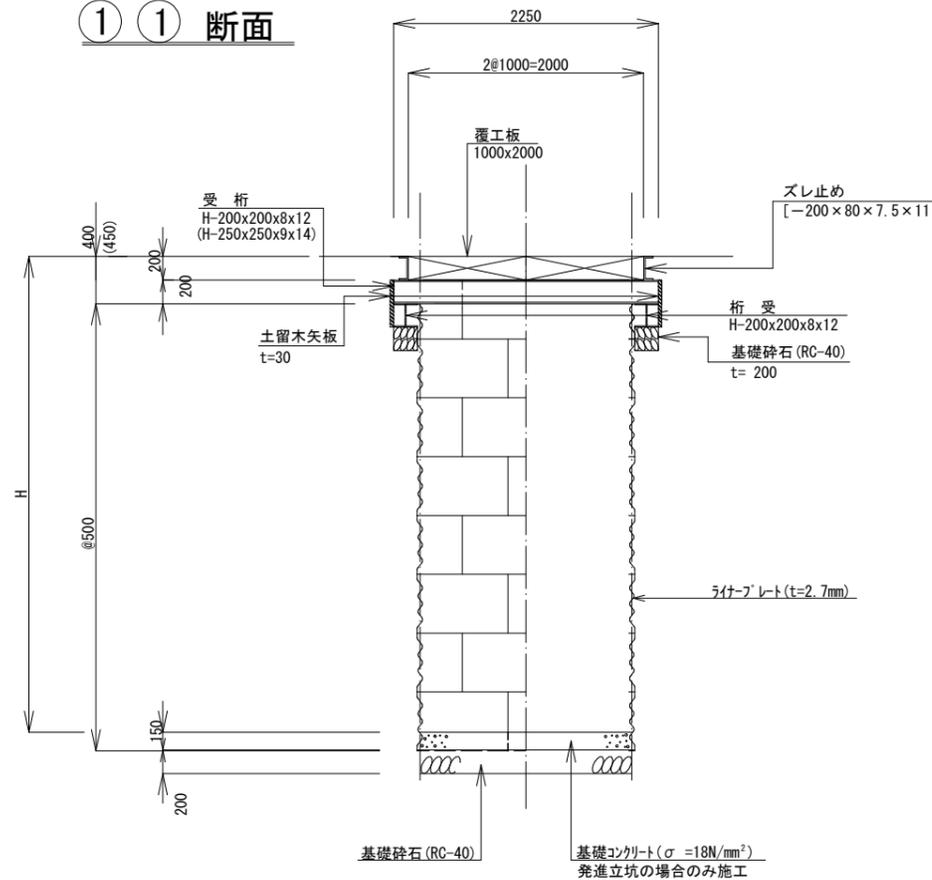
覆工平面図



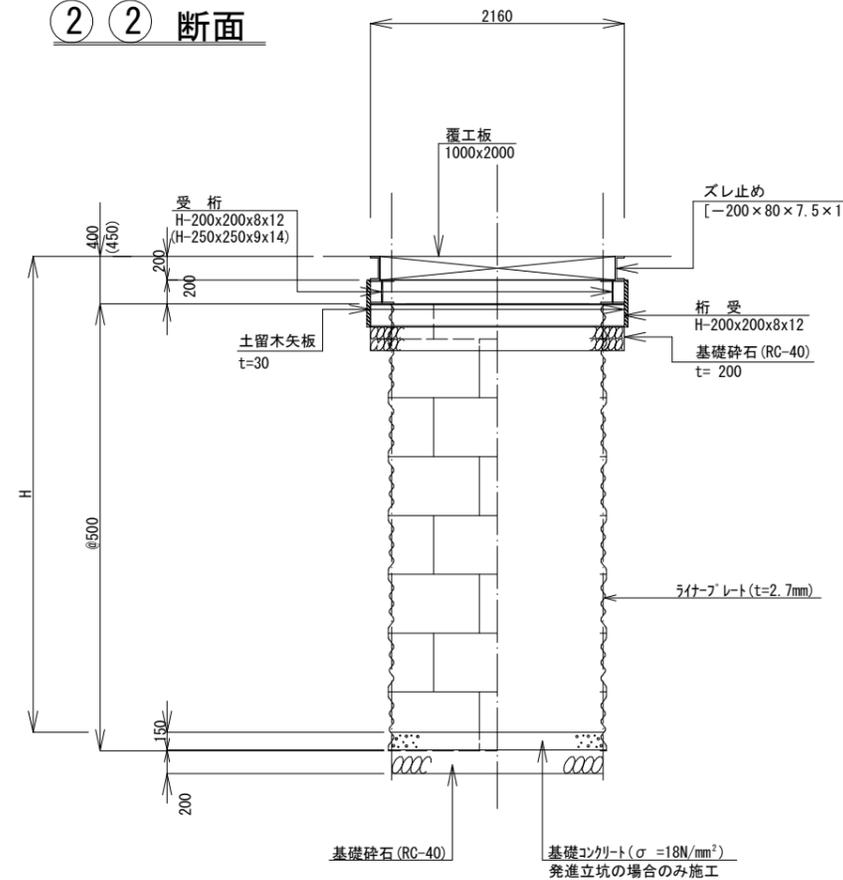
覆工基礎工 S=1:10



① ① 断面



② ② 断面



※国道、県道、および1級・2級幹線市道等のT-25対応路線は () 内数値とする

※Hは立坑深とする

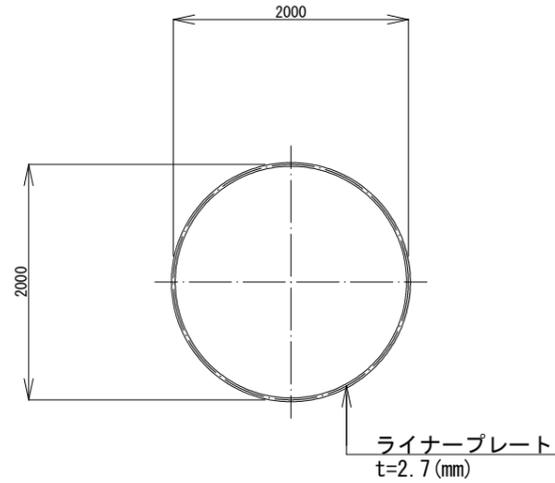
※裏込めは加工されたグラウトホールを使用し注入すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図(ライナープレートφ1800mm)
縮尺	図示
図面番号	S-F4
船橋市 下水道河川整備課	

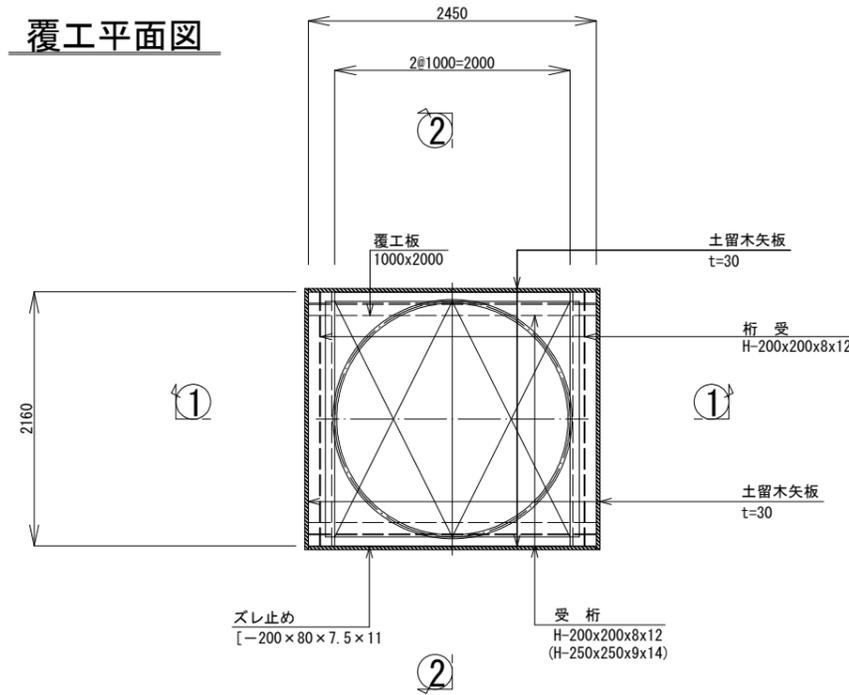
立坑構造図(ライナープレート) S=1:30

φ2000mm

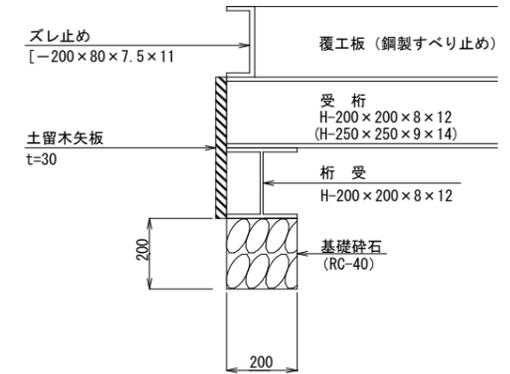
平面図



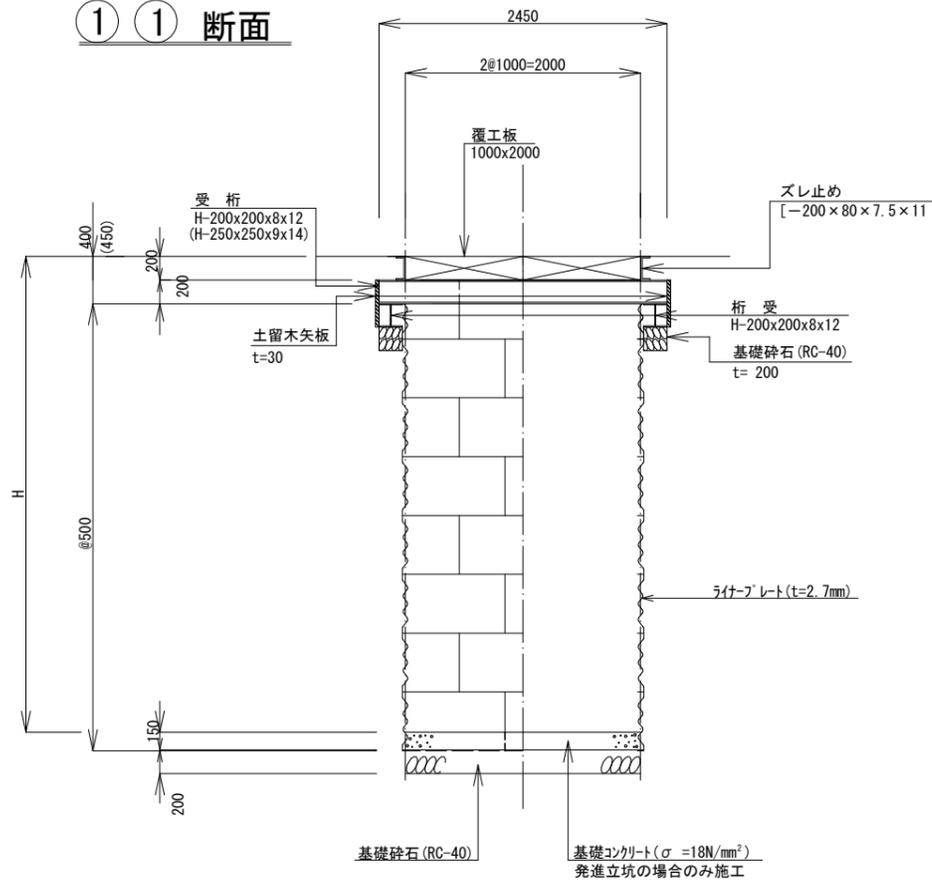
覆工平面図



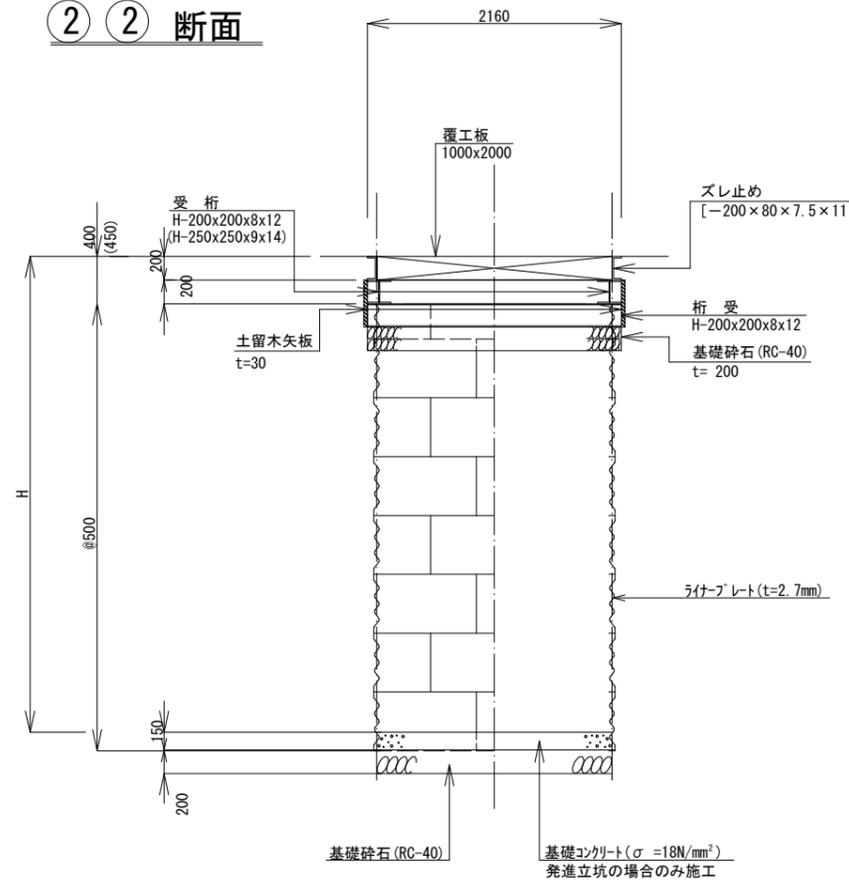
覆工基礎工 S=1:10



① ① 断面



② ② 断面



※国道、県道、および1級・2級幹線市道等のT-25対応路線は () 内数値とする

※Hは立坑深とする

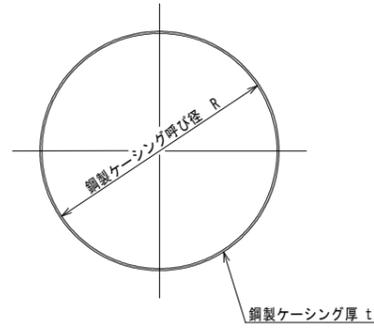
※裏込めは加工されたグラウトホールを使用し注入すること

令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図(ライナープレートφ2000mm)
縮尺	図示
図面番号	S-F5
船橋市 下水道河川整備課	

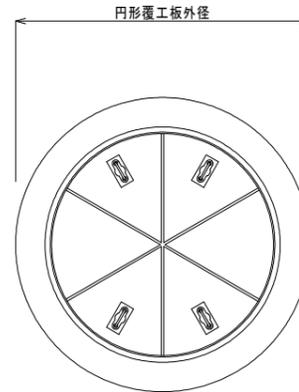
立坑構造図 (小型立坑) 縮尺：図示 ($\phi 1500\text{mm}$ 、 $\phi 1800\text{mm}$ 、 $\phi 2000\text{mm}$)

覆工板詳細図

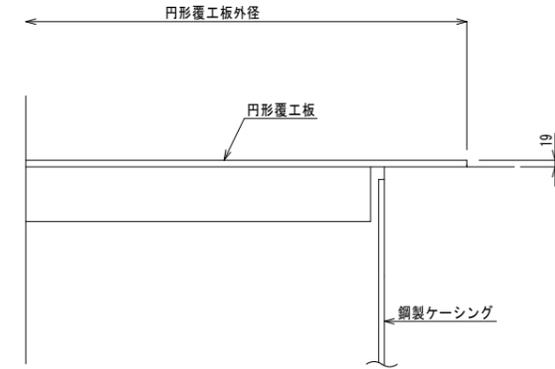
平面図 縮尺 FREE



平面図 縮尺 FREE



断面図 縮尺 FREE

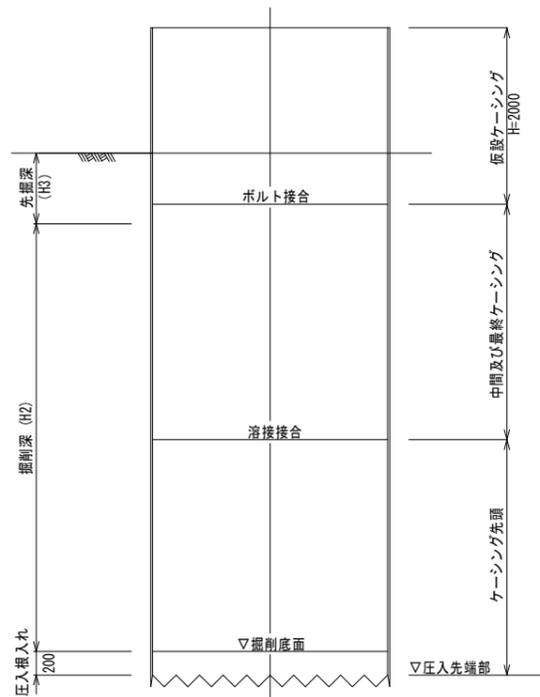


※円形覆工板呼び径は、次の通りとする。

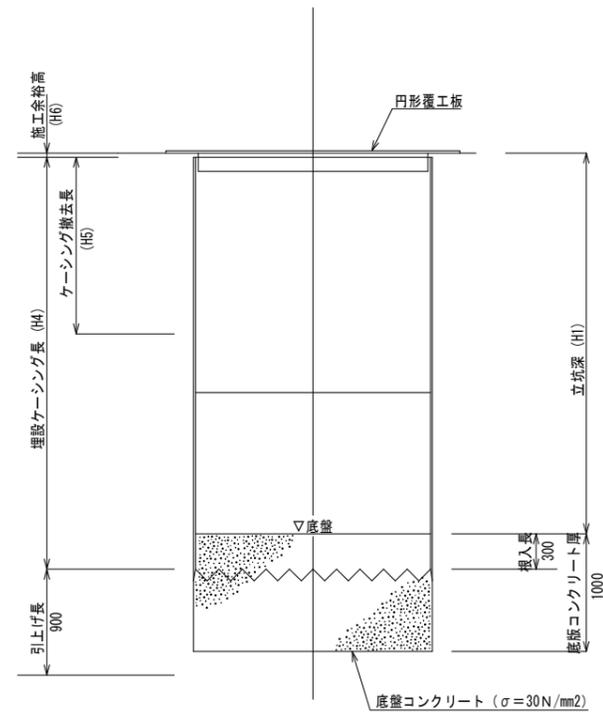
鋼製ケーシング 呼び径	$\phi 1500$	$\phi 1800$	$\phi 2000$
円形覆工板 外径 (mm)	2000	2300	2500

断面図 縮尺 FREE

圧入掘削完了時



引上げ・底盤コンクリート完了時



※下記の寸法に関しては、特記仕様書を参照のこと。

鋼製ケーシング 呼び径 (R)	鋼製ケーシング厚 (t)	立坑深 (H1)	掘削深 (H2)	先掘削深 (H3)	埋設ケーシング長 (H4)	ケーシング撤去長 (H5)	施工余裕高 (H6)
--------------------	-----------------	-------------	-------------	--------------	------------------	------------------	---------------

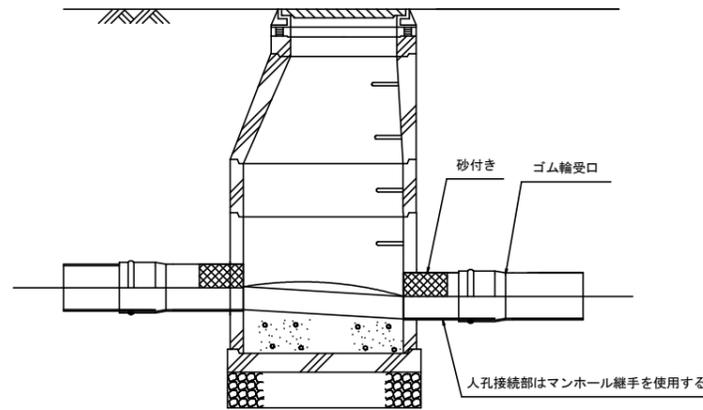
令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	立坑構造図 (小型立坑)
縮尺	図示
図面番号	S-F6
船橋市 下水道河川整備課	

耐震構造図

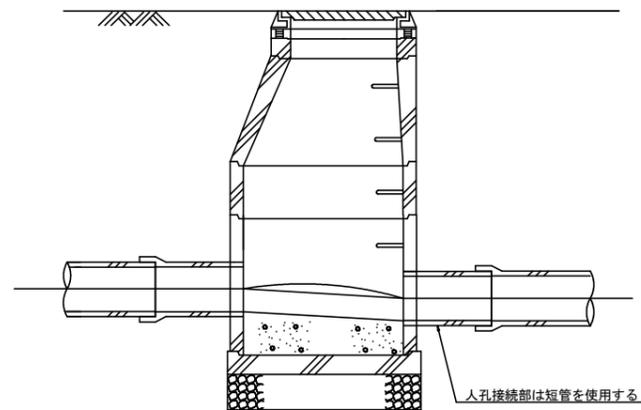
S=1:20

開削工法

硬質塩化ビニル管

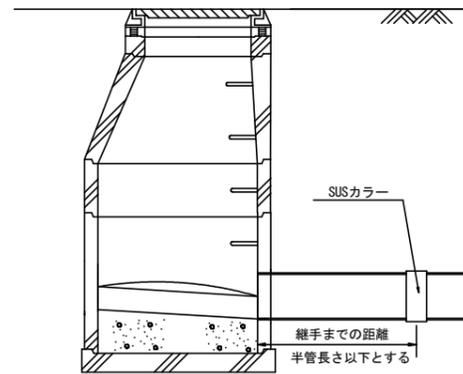


鉄筋コンクリート管

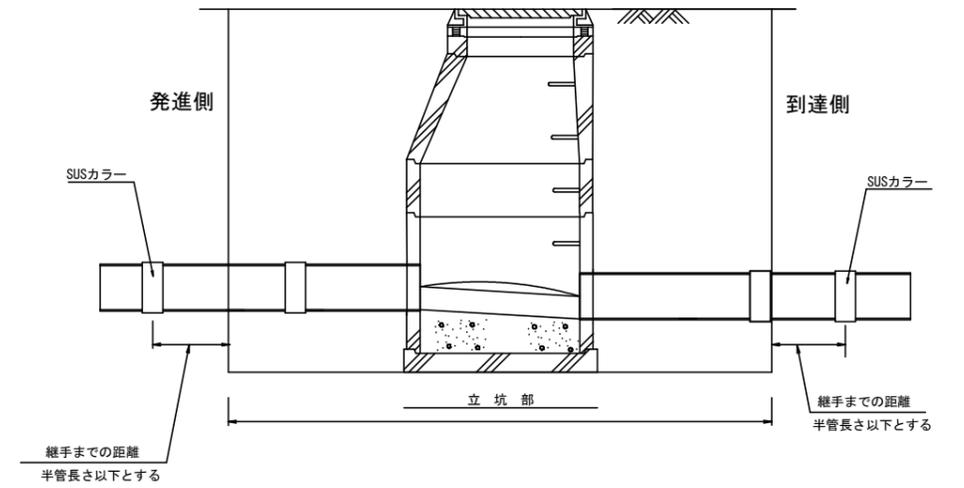


推進工法

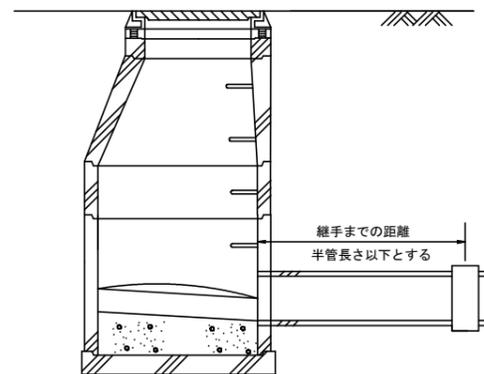
低耐力力推進
(人孔到達部)



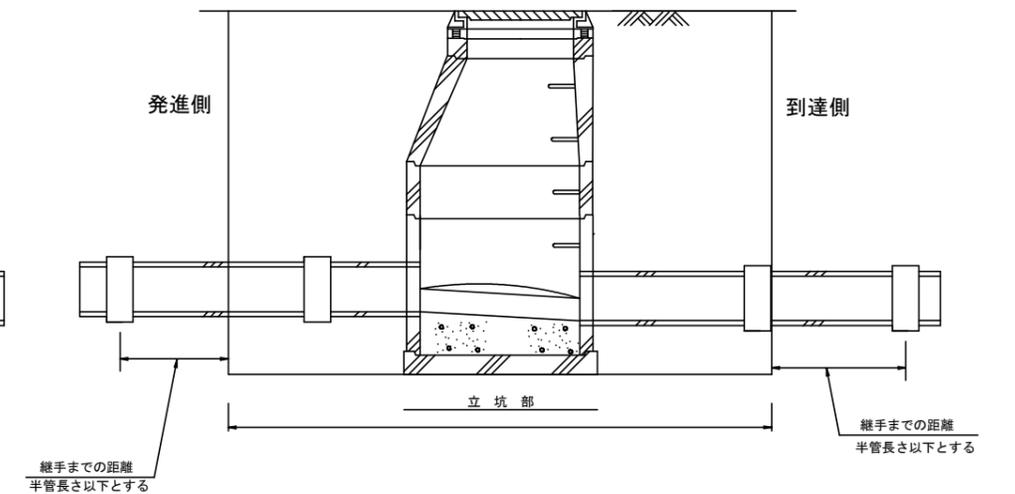
低耐力力推進
(立坑部)



高耐力力推進
(人孔到達部)



高耐力力推進
(立坑部)



令和7年度	
工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	耐震構造図
縮尺	図示
図面番号	S-G1
船橋市 下水道河川整備課	

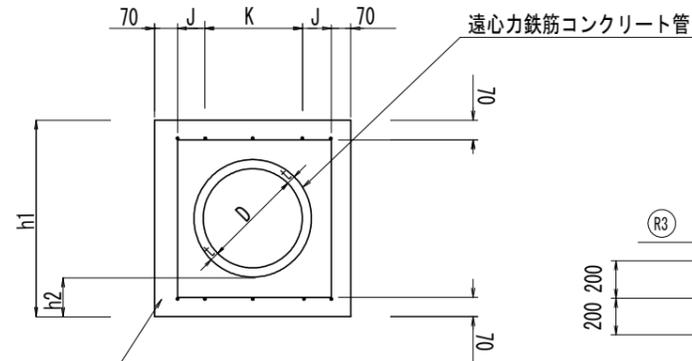
空伏構造図

S=free

設計条件

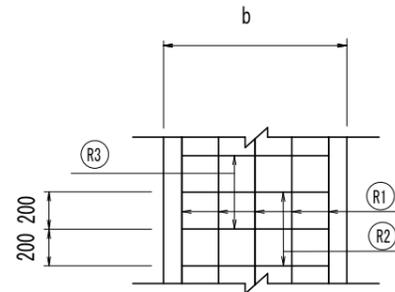
コンクリート設計基準強度	基礎	18-8-20
鉄筋の種類		S3045

断面

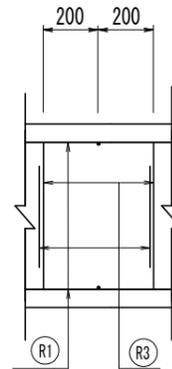


コンクリート
 $\sigma_{ca} = 18\text{N/mm}^2$

上下面



側面



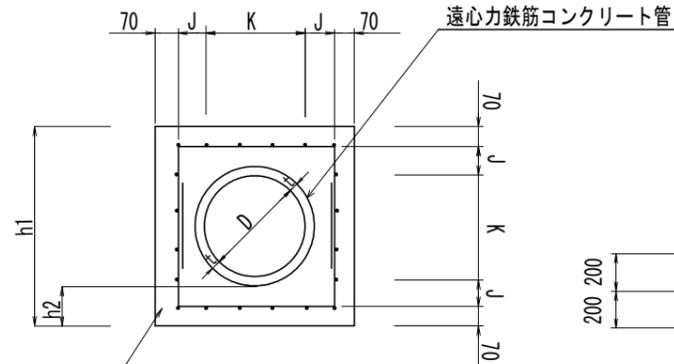
寸法および材料表

記号	D	t	b	h1	h2	J	K
D500	500	70	900	900	150	180	400 (=2×200)

鉄筋材料表

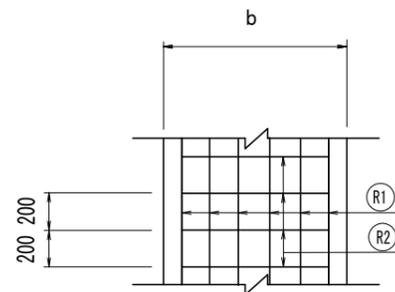
管径	縦方向鉄筋 ① (1m当り)				横方向鉄筋 ② (1m当り)				横方向鉄筋 ③ (1m当り)				鉄筋総質量(kg)			
	鉄筋径	本数	単位質量(kg/m)	質量(kg)	鉄筋径	本数	1本当り長さ(mm)	単位質量(kg/m)	質量(kg)	形状	質量(kg)					
D500	D16	10	1.56	15.600	D13	5	780	0.995	3.781	D13	5	1980	0.995	9.900	□	29.281

断面

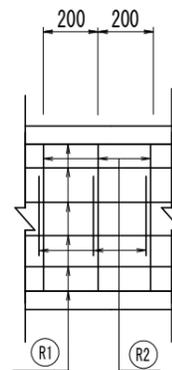


コンクリート
 $\sigma_{ca} = 18\text{N/mm}^2$

上下面



側面



寸法および材料表

記号	D	t	b	h1	h2	J	K
D600	600	80	1000	1000	150	130	600 (=3×200)
D700	700	90	1220	1220	200	140	800 (=4×200)
D800	800	80	1340	1340	200		1200 (=6×200)
D900	900	90	1460	1460	200	160	1000 (=5×200)
D1000	1000	100	1580	1580	200	120	1200 (=6×200)

鉄筋材料表

管径	縦方向鉄筋 ① (1m当り)				横方向鉄筋 ② (1m当り)				鉄筋総質量(kg)		
	鉄筋径	本数	単位質量(kg/m)	質量(kg)	鉄筋径	本数	1本当り長さ(mm)	単位質量(kg/m)		質量(kg)	形状
D600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2160	0.995	21.791	□	41.691
D700	D13	24	0.995	23.880	D13	10	2820	0.995	26.169	□	50.049
D800	D16	24	1.560	37.440	D13	10	2870	0.995	28.557	□	65.997
D900	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3110	0.995	30.945	□	74.625
D1000	D16	32	1.560	49.920	D13	10	3350	0.995	33.333	□	83.253

令和7年度

工事名	
路線番号	
工事場所	
図面種別	空伏構造図
縮尺	図示
図面番号	S-H1
船橋市 下水道河川整備課	